

THE ROTARY-NO-TOMO

ロータリーの友

10

2017
OCTOBER
VOL.65 NO.10



日本と世界を結ぶ人づくり
ロータリー米山記念奨学会財団設立50周年

特集 ようこそ、日本へ
訪日客支援編

Rotary



END
POLIO
NOW



歴史をつくる
カウントダウン

Rotary 

ポリオ撲滅にご協力ください

親愛なるロータリアンの皆さん、何年か前のことですが、私の娘が働いていたオーストラリア・メルボルンの博物館では「鉄の肺（人工呼吸器）」が展示されていました。私と同時代で1950年代のポリオ大流行を覚えている人にとって、鉄の肺は、ポリオワクチンのおかげでいかにポリオ対策が進歩したかを物語る証拠です。かつての貴重な医療機器が、今では博物館の展示物なのですから。

世界の多くの地域において、ポリオのストーリーはシンプルです。ポリオの脅威に長年おびやかされた後、ワクチンが開発され、克服されるのです。しかし、世界のいくつかの地域においては、そのストーリーは異なりました。そのような国の多くではワクチンが入手できなかったり、大規模なワクチン投与は費用がかかりすぎたり、単に子どもたちに行き届かなかったのです。博物館にしまわれた国がある一方で、こういった国々ではポリオは猛威を振るい続けていました——そこでロータリーが一歩踏み出し、声を上げたのです。「どこに暮らしていても、どういう環境に置かれていても、全ての子どもたちがポリオのない人生を送る権利がある」と。

ポリオプラスが発足して数年後、ロータリー、各国政府、世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）が一体となって取り組んだことで、ポリオの発症件数は年間35万件だったのが、2017年にはわずか数件にまで減少しました。しかし、発症件数ゼロを達成し、維持しなくては、ポリオ撲滅は実現できません。そのためには、皆さま一人一人の支援が必要です。

10月24日は世界ポリオデーです。これまでに成し遂げたことを祝い、ポリオ撲滅を完遂するために人々の意識を高め、資金を募る機会です。全てのロータリークラブが何らかの形で、世界ポリオデーに参加するようお願いします。また、endpolio.orgでアイデアを探したり、イベントを登録することをお勧めします。サイレントオークション、VRビューイング、チャリティーウォーク、「Purple Pinkie Day（小指を紫色に染めようデー）」など、どのような活動でも大きな変化を生み出すことができます。

今年の世界ポリオデーでは、シアトルにあるビル＆メリンダ・ゲイツ財団本部でライブストリーミングが行われ、午後2時30分（太平洋標準時）からendpolio.orgで中継されます。多くの皆さまがご存じのように、ロータリーは今後3年間で年5,000万ドルの寄付を約束しました。この2倍の額をゲイツ財団が上乘せし、ロータリーが世界ポリオデーなど年間の募金活動で調達する総額を、事実上3倍にしてくれます。ポリオ撲滅にご協力ください。そして、世界ポリオデーではみんなで変化をもたらしましょう。



Ian H. S. Riseley
2017-18年度 国際ロータリー（R I）会長



ロータリー：
変化をもたらす



ロータリーの友
Home Page

www.rotary-no-tomo.jp

原文（英語）はこちらから



イアン H. S. ライズリー R I 会長の講演と最新情報はこちらから。www.rotary.org/ja/office-president

RI 会長メッセージ 3

RI ポリオ撲滅にご協力ください

RI 会長 イアン H. S. ライズリー

特集

米山月間

日本と世界を結ぶ人づくり 7

—— ロータリー米山記念奨学会財団設立 50 周年 ——

思いを受けて世界へ！ 学友たちの今

財団設立から 50 年間の主な出来事

ロータリー米山記念奨学会資料

特集

ようこそ、日本へ 14

—— 訪日客支援編 ——

地域に育て！ 国際人

俱知安 RC 吉田 聡

たま電車で 4 カ国語の図書を寄贈

和歌山東南 RC 土屋一博

- 6 ● ロータリーとは
- 30 ● パズル de ロータリー／7 月号の答え
- 33 ● エバンストン便り
- 34 ● 財団管理委員長の思い **RI**
- 35 ● お知らせ 新 IAC／IAC 名称変更／新 RAC／RAC
名称変更／地区別クラブ数・会員数一覧表／『友』11 月号主要
記事予定
- 36 ● 投稿規定（『友』に投稿しませんか）
- 37 ● 日本ロータリー分布図／奥付

心は共に 18

九州北部豪雨

朝倉の被災地から

甘木 RC 東 義輝

友がいて良かった！

甘木 RC 重富繁喜

九州北部豪雨災害義援金の報告と御礼

第 2700 地区ガバナー 安増惇夫

ホテル観賞の集いで募金活動

川口北東 RC 木内賢治

RI People of Action 21

世界を変える行動人 THE ROTARIAN 9 月号から

World Roundup 24

世界のロータリーニュース THE ROTARIAN 10 月号から

ロータリー財団 100 周年を祝う 26

茅ヶ崎 RC 大箭剛久／元財団奨学生カウンセラー 池上 實

上岡音楽監督に聞く —— 留学時代 そして今

日本のロータリー

100 周年を迎えるにあたり 28

日本のロータリー 100 周年実行委員会委員長 斎藤直美

NEW GENERATION 29

元ロータリー財団奨学生 平塚あゆ美／

元ロータリーアクター 深谷 元

第 46 回

ロータリー研究会ご出席のお願い 31

第 6 回

日台ロータリー親善会議のご案内 32

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp (本誌の内容・ご投稿)

経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp (購読・注文)

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



●本誌中のRCはロータリークラブ、RIは国際ロータリーの略です。
●縦組みの目次は、反対側の表紙を開いたページにあります。●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

10月は経済と地域社会の発展月間 米山月間です



米山奨学生第1号は、タイの青年ソムチャード・ラタナチャタ氏（写真右）。現地で選考され、1954年9月28日に来日し、東京大学農学部で養蚕を学びました。その13年後の67年にロータリー米山記念奨学会は財団となり、今年は財団50周年を迎えました。

ロータリーの友
委員会

委員長 清水 良夫（横浜）
副委員長 片山 主水（名古屋東南）
RI理事 斎藤 直美（豊田）
RI理事 石黒 慶一（鶴岡西）

特別顧問 神崎 正陳（茅ヶ崎湘南）
上野 孝（横浜）
安平 和彦（姫路）
片岡 信彦（土浦南）
橋本 長平（京都東）

顧問 田中 政春（長岡西）
岡部 一輝（南砺）
庄司 尚史（境港）
松坂 順一（東京葛飾東）
服部 陽子（東京広尾）

地区
代表委員

2500 松井 文（網走）
2510 藤井 方雄（函館）
2520 笹氣光壽郎（仙台）
2530 渡邊 宗徹（白河）
2540 村越 正道（能代）
2550 加藤 勝朗（宇都宮東）
2560 木村 廉平（新潟万代）
2570 大澤 衛（朝霞キヤロット）
2770 星野 時夫（大宮中央）
2790 根本 健一（柏）
2800 若月 仁（寒河江）
2820 神生 恭利（石岡）

2830 折居 祐二（十和田）
2840 小野 幸広（沼田中央）
2580 石川彌八郎（東京福生）
2590 山本 邦近（横浜西）
2600 林 武雄（長野）
2610 大和 謙市（加賀）
2620 多々良 匡（焼津）
2630 戸上 宗賢（上野東）
2750 井村 廣巳（東京日野）
2760 尾本 和弘（名古屋東南）
2780 伊与田あさ子（横浜賀北）
2640 井手 良明（和歌山城南）

2650 室 公博（京都東）
2660 藤田 弘道（大阪東）
2670 三浦 聖人（観音寺）
2680 村野 利昭（神戸西）
2690 横田 直樹（倉敷南）
2700 高山 卓也（宗像）
2710 宮本 民子（岩国中央）
2720 山田 哲大（熊本）
2730 菅沼 龍夫（宮崎北）
2740 北島 恭一（佐賀南）
編集長 野崎 恭子

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,533、会員総数1,236,554人（2017年5月31日RI公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,261、会員数88,813人（2017年7月末現在）となっています。

2017 - 18年度 R I テーマ



ロータリー：
変化をもたらす

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

HAPPY 50th ANNIVERSARY

日本と世界を結ぶ人づくり

ロータリー米山記念奨学会財団設立50周年

2017年、ロータリー米山記念奨学会は財団設立50周年を迎えました。日本で学ぶ私費外国人留学生を支援し、友情を育むことで“平和日本”を肌で感じてもらいたい、そんな願いを込め、始まった奨学事業。財団法人設立当時の1967年、年間59人だった奨学生数は今では約800人、これまでに累計125の国と地域から1万9,808人を支援しています。「平和日本を世界へ」——。戦後のロータリアンたちの願いは半世紀の時を経て、大きな木となり、花を咲かせています。



125の国と地域の国旗または旗（奨学生採用時の旗を含む）

思いを受けて 世界へ！ 学友たちの今

“よねやま”に受け継がれてきた思い

ロータリー米山記念奨学事業の前身である「米山基金」の構想が発表されたのは、今から65年前の1952年。戦時中に解散を余儀なくされた日本のロータリークラブが、国際ロータリーに復帰して3年後のことです。

それを見届けることなく世を去った“日本のロータリーの父”、東京ロータリークラブ（RC）の創始者である・米山梅吉翁（1868～1946）の功績をしのぶ有益な事業を始めようと、当時の東京RCの会長であった古澤文作氏らによって、海外から優秀な留学生を呼び寄せ支援する「米山記念奨学金」が発案されたのでした。

それは、勉学に燃える日本やアジアの青年たちに援助の手を差し伸べていた米山翁の遺徳を記念するにふさわしい事業であると同時に、二度と戦争の悲劇を繰り返さないため、世界の人たちと交流を図り、世界に平和を伝えたいという、当時の日本人の切実な思いを反映したものでした。

1クラブの単独事業であったこの事業への共感と理解は、5年を待たずに全国へと広がり、1957年には全国組織「ロータリー米山奨学委員会」が発足。多くのロータリアンの努力と熱意によって、さらにその10年後には財団法人化を成し遂げ、事業の継続性を確固たるものとなりました。

それから50年、戦後のロータリアンが情熱をもって始めたこの事業は、全国のロータリアンによって継承され、今日に至っています。こうした思いを受けつつ、世界に羽ばたく元奨学生「米山学友」は約2万人に。米山学友は日本との懸け橋として多彩な活躍をしています。ここでは、その一例をご紹介します。

米山学友初の駐日韓国大使



元駐日韓国大使
高麗大学政治外交科名誉教授
チェン サンヨン
崔 相龍 さん

出身：韓国
年度：1969 - 72
世話クラブ：東京日本橋、東京城西

1998年の「日韓共同宣言」の諮問委員を務め、当時の大統領と内閣を説得して、日本文化の開放を進め、日韓関係の改善に大きく貢献しました。第14代駐日大韓民国特命全権大使（2000 - 02）を務め、現在も政治学者として活躍しています。

ベトナム初の私立大学設立に尽力



タンロン大学初代学長
タンロン技術学院院長

フィン ムイ さん

出身：ベトナム
年度：1973 - 74
世話クラブ：東京荏原
（現・東京品川中央）

1988年、ベトナム初の私立大学となるタンロン大学をハノイに設立し、初代学長に就任。現在はタンロン技術学院を主宰して、日系企業への就職を目指す学生への日本語教育・IT技術教育を通じた高度人材育成に尽力しています。

フィリピンの日本語教育振興に貢献



元日本語センター財団校長
元フィリピン日本語文化学院校長

ベアトリス モヒカ さん

出身：フィリピン
年度：1980 - 81
世話クラブ：竜ヶ崎

長年、フィリピンの日本語教育界で指導的役割を果たし、2006年春の叙勲で旭日小綬章を受章しました。定年退職後は、「恩返しの時」と精力的にボランティア活動を始めて、台風などの自然災害で被災した農村の小学校に図書室を贈る活動などを行っています。

女性初の故宮博物院院長



国立台北教育大学教授
(財)国家文化芸術基金会理事長
リン マンレイ
林 曼麗さん

出身：台湾
年度：1981 - 83、1996
世話クラブ：東京保谷

2006年に女性では初めて、閣僚級とされる国立故宮博物院の院長に就任し、斬新な改革に手腕を発揮して世界的な注目を集めました。院長退任後は、大学教授として高等教育に従事するほか、台湾美術界の要職を務め、講演も数多く行っています。

中国に進出する日本企業を支援



弁護士
(世澤法律事務所パートナー)
キ グン
姫 軍さん

出身：中国
年度：1995 - 97
世話クラブ：東京臨海

2004年に中国・北京に法律事務所を設立。現在は上海や東京にも拠点を拡大しています。日本企業を原告とする商標権侵害訴訟で過去最高の賠償額を勝ち取ったほか、反日デモが多発する中、日本企業と駐在日本人のためのホットラインを開設して支援しました。

漫画『はだしのゲン』をアラビア語に



カイロ大学文学部
日本語部門主任教授
マーヒル エルシリビーニーさん

出身：エジプト
年度：1989 - 91
世話クラブ：広島東

日本の原爆体験をアラブ圏に伝えたいと、被爆者の手記『語りびと』を、2年を費やしてアラビア語に翻訳し、2011年にエジプトで出版しました。続いて2015年、原爆の悲惨さを描いた漫画『はだしのゲン』翻訳版を出版。戦乱の続く中東で、平和の大切さを訴えました。

モンゴルに日本式高校を設立



新モンゴル学園理事長
ジャンチブ ガルバドラハさん

出身：モンゴル
年度：1998 - 99
世話クラブ：山形北

2000年、モンゴルのウランバートルに日本式高校「新モンゴル高校」を設立しました。多くの卒業生を、日本をはじめ海外の大学に送り出しています。現在は幼稚園、小中学校、高校、工科大学、高専を擁する「新モンゴル学園」に成長し、モンゴルの教育の発展に貢献しています。

通訳でインド首相の外交をサポート



日・英・ヒンディー語同時通訳者
ルチ ネタニさん

出身：インド
年度：1993 - 95
世話クラブ：熊本

高度な英語と日本語の語学力を駆使して、帰国後は同時通訳者に。インドのナレンドラ・モディ首相の来日にも随行して通訳を務めました。現在は首相の日本語、英語、ヒンディー語の通訳を務めるほか、インド企業に日本のビジネス文化を紹介する講演活動をしています。

社会貢献活動で「若者力大賞」に



(公財)かながわ国際交流財団勤務
駐日ネパール大使公式通訳者
ジギャン クマル タパさん

出身：ネパール
年度：2008 - 09
世話クラブ：横浜たま

東日本大震災や熊本地震の被災地での炊き出しや、ネパール大地震被災児童の給食栄養改善事業「たまごプロジェクト」などに尽力しました。今年2月、そうした功績により(公財)日本ユースリーダー協会の「第8回若者力大賞」を受賞しました。

財団設立から 50 年間の主な出来事

● 米山記念奨学会の出来事

● 1967 年 財団法人ロータリー米山記念奨学会設立

● 1969 年 機関誌『よねやま』を発行（毎月）



栃木西RCの例会に参加し、卓話を行う米山奨学生（1969年）



財団法人となって間もないころの米山記念奨学会理事会（1969年）



奨学生の選考風景（1970年）

● 1971 年 米山カウンセラー制度設置

● 1972 年 奨学会の事業に貢献した会員を表彰する「米山功労者」制度を設定

● 1975 年 米山梅吉氏が逝去した4月28日までの1週間（22～28日）を米山週間とする

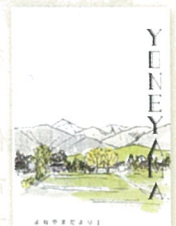


米山梅吉生誕110周年と、財団化10周年を記念して、米山功労者へのメダルを制作（1977年）

● 1978 年 特別寄付金への免税措置の認可を受ける

● 1980 年 米山週間を10月1～7日に、83年から月間に変更

● 1983 年 台湾（台北）で、初の正式な米山学友会となる扶輪米山会（台湾米山学友会）結成大会を開催



● 1984 年 機関誌『よねやまだより』を発行（年2回）

● 1985 年 国内初の学友会、米山奨学生学友会（関東）が発足



● 1986 年 米山奨学生学友会（関西）、同学友会（北関東）発足

● 1988 年 米山奨学生学友会（西日本）発足

● 1989 年 ソウル国際大会で在韓学友が米山関係者歓迎会開催。それを機に韓国米山学友会を発足

1960 年代

○ 1961 年 東京で、アジア初の R I 国際大会

● 1964 年 東京オリンピック

○ 1968 年 日本人として初めて、東ヶ崎潔氏が R I 会長就任

○ 1969 年 財団法人・米山梅吉記念館の設立

○ ロータリーの出来事

● 社会の出来事

1970 年代

● 1970 年 日本万国博覧会（大阪万博）

● 1972 年 日中国交正常化 札幌オリンピック

● 1973 年 第1次オイルショック

● 1975 年 ベトナム戦争終結

○ 1978 年 東京で2回目の R I 国際大会

● 1979 年 第2次オイルショック

1980 年代

○ 1982 年 向笠廣次氏が R I 会長に就任

● 1985 年 国際科学技術博覧会（つくば万博）

○ 1986 年 ロータリアン 100 万人突破

● 1989 年 昭和から平成へ

○ 1989 年 ロータリークラブへの女性の入会を承認

米山記念奨学

- 1995年 米山学友を中心とする初のロータリークラブとして、台北東海R Cが創立。写真は認証状伝達式の様子

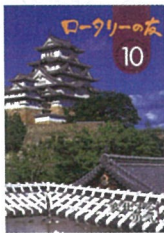


- 1997年 台湾の学友会、扶輪米山会が社団法人の認可を得る

- 1998年 理事会、評議員会で、翌年4月の採用から、米山奨学生の出身地をロータリーの所在国・地域にかかわらず、すべての国・地域に拡大すると決定

- 1999年 国内13の地区で大学推薦制度を試行。その検証を兼ねて、米山記念奨学事業第1期基礎調査を実施。

この年の『ロータリーの友』10月号から、「よねやまだより」の掲載を開始



- 2001年 日本政府による「留学生受入れ制度100年記念式典」にて、文部科学大臣から、留学生交流功労団体として表彰を受ける



- 2002年 第1期基礎調査の結果を基に制度改編を実施。大学推薦制度を全国で施行。上海米山学友会が発足

- 2003年 第2期基礎調査を実施

- 2006年 制度改編を実施。第2期基礎調査の結果を基に、ベトナムを対象とした「現地採用奨学金」を試行開始

- 2007年 日本全地区によるロータリー多地区合同奉仕活動としての手続きが完了

- 2008年 米山学友ホームカミング制度がスタート

- 2009年 中国米山学友会が発足。設立総会を北京で開催

- 2010年 国内初、米山学友を中心に東京米山友愛R Cが創立



- 2011年 東日本大震災後、台湾、韓国、中国の各学友会などから総額740万円の義援金

- 2012年 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会となる。タイ米山学友会が発足。バンコク国際大会で、米山ナイト開催

- 2013年 ネパール米山学友会が発足

- 2014年 モンゴル米山学友会が発足

- 2016年 ソウル国際大会に各地から米山学友が集まり、ブース出展と、初の分科会を開催。スリランカ米山学友会、マレーシア米山学友会が発足

- 2017年 ミャンマー米山学友会が発足。米山記念奨学会財団設立50周年

1990年代

- 1990年 旧ソ連のロシアとその他の共和国がロータリーに加入
- 1990年 東西ドイツの統一
- 1991年 バブル経済の崩壊
- 1995年 阪神・淡路大震災
- 1998年 長野オリンピック

2000年代

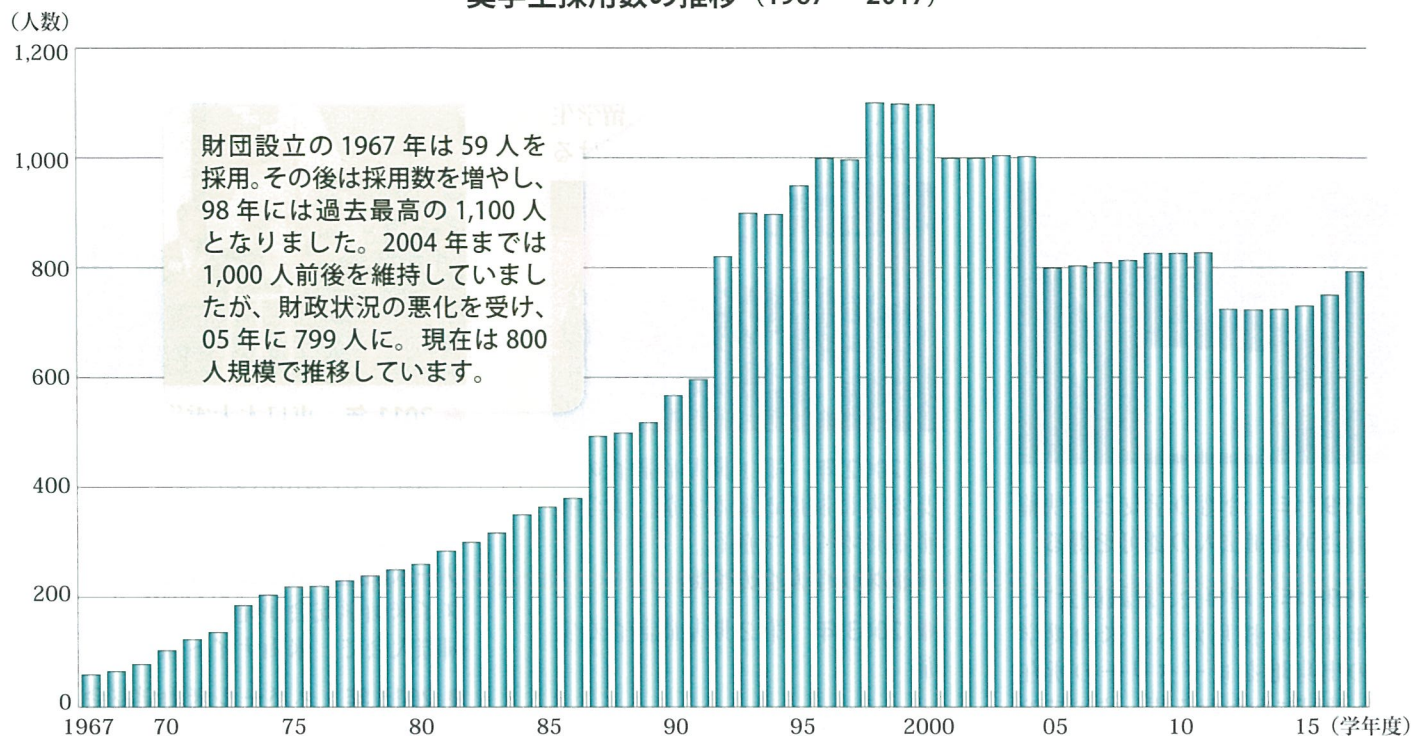
- 2001年 アメリカ同時多発テロ事件が発生
- 2004年 大阪でR I国際大会
- 2005年 ロータリー創立100周年
- 2005年 愛・地球博（愛知万博）
- 2008年 リーマン・ショック

2010年代

- 2011年 東日本大震災
- 2012年 東京スカイツリーの完成
- 2012年 田中作次氏がR I会長に就任
- 2016年 熊本地震

ロータリー米山記念奨学会資料

奨学生採用数の推移 (1967 - 2017)



理事および監事 (2017年9月現在)

理 事 長	小沢 一彦 (2780)					の計画、予算策定など。監事は、理事の職務執行の監査などを行っています。			
副 理 事 長	埴 東男 (2820)	若林 紀男 (2660)							
常 務 理 事	武田 和夫 (2800)	山崎 淳一 (2830)	水野 功 (2750)						
理 事	柴田 和明 (2500)	塚原 房樹 (2510)	皆川 清 (2520)	大橋 廣治 (2530)	村上 勘一 (2540)				
	飯村 慎一 (2550)	植木 康之 (2560)	加藤 玄静 (2570)	大塚 信郎 (2770)	増田 裕 (2790)				
	高木貞一郎 (2840)	吉田 建二 (2580)	斉藤 二郎 (2590)	島田甲子雄 (2600)	中川可能作 (2610)				
	勝山國太郎 (2620)	村橋 元 (2630)	近藤 雄亮 (2760)	辻 秀和 (2640)	栗田 幸雄 (2650)				
	須之内淳二 (2670)	中村 尚義 (2680)	橋本 譲 (2690)	安増 惇夫 (2700)	天野 肇 (2710)				
	小山 康直 (2720)	秦 喜八郎 (2730)	栗林 英雄 (2740)						
監 事	真下 和男 (2570)	森島 庸吉 (2790)	浅川 皓司 (2580)					評議員は、理事の業務を監督し、理事・監事の選任と解任、定款変更や決算の承認など	
名誉理事長	末永 直行 (2700)	板橋 敏雄 (2550)							
事務局 長	岩邊 俊久								

理事は、採用数の決定や事業の計画、予算策定など。監事は、理事の職務執行の監査などを行っています。

評議員は、理事の業務を監督し、理事・監事の選任と解任、定款変更や決算の承認などの役割を担っています。

評議員 (2017年9月現在)

評議員	成瀬 則之 (2500)	渡邊 恭久 (2510)	小野寺則雄 (2520)	味戸 道雄 (2530)	佐藤 博明 (2540)
	比企 達男 (2550)	石本隆太郎 (2560)	立原 雅夫 (2570)	三國 明 (2770)	得居 仁 (2790)
	新関彌一郎 (2800)	長谷川國雄 (2820)	松本 康子 (2830)	竹内 正幸 (2840)	石川 正一 (2580)
	市川緋佐磨 (2590)	宮坂 宥洪 (2600)	高柳 功 (2610)	積 惟貞 (2620)	桑月 心 (2630)
	坂本 俊雄 (2750)	田中 正規 (2760)	仲田 昌弘 (2780)	成川 守彦 (2640)	橋本 長平 (2650)
	高島 凱夫 (2660)	稲山 三治 (2670)	柴田 整宏 (2680)	庄司 尚史 (2690)	吉田 知弘 (2700)
	沖田 哲義 (2710)	赤山 武興 (2720)	伊藤 学而 (2730)	高城 昭紀 (2740)	

地区別寄付額・功労者数・奨学生数

地区	寄付額			功労者数（人）		特別寄付金 寄付者割合 （個人）	奨学生数（人）	
	2016－17 年度（円）	個人平均（円）	累計（千円）	2016－17 年度	対前年度 増減		2017 学年度	累計
2500	13,870,650	6,022	622,401	62	－ 12	17.1%	9	153
2510	26,681,277	10,309	1,111,091	112	－ 29	37.2%	16	434
2520	19,054,624	8,252	818,888	89	29	20.7%	11	562
2530	31,973,502	13,179	958,635	129	5	45.5%	16	295
2540	10,149,414	8,981	347,565	29	3	19.5%	7	167
2550	31,295,637	18,301	1,336,749	179	－ 6	69.9%	22	659
2560	40,087,466	18,927	1,231,328	180	－ 5	66.1%	25	422
2570	19,864,500	12,090	1,169,889	90	－ 16	33.7%	16	502
2770	63,817,360	24,498	2,357,006	384	－ 38	63.4%	34	735
2790	42,527,250	15,145	1,750,078	206	0	38.8%	25	644
2800	18,616,510	11,400	570,348	54	－ 13	36.9%	10	209
2820	48,159,500	24,298	1,740,474	276	－ 9	75.7%	28	878
2830	10,440,000	8,892	359,927	51	4	39.3%	8	142
2840	39,265,402	18,751	1,198,732	231	62	78.2%	22	367
2580	52,851,850	17,260	2,455,408	203	－ 28	20.1%	37	1,472
2590	65,893,000	31,801	2,438,711	362	－ 16	79.3%	39	915
2600	28,630,700	14,344	1,390,610	120	－ 15	18.3%	17	416
2610	39,971,000	14,992	1,290,077	180	56	25.8%	20	436
2620	43,081,472	14,129	1,578,695	161	10	66.8%	20	450
2630	28,900,568	9,248	1,759,976	108	－ 15	40.3%	14	429
2750	73,347,846	16,063	3,310,145	333	12	36.2%	42	1,322
2760	70,432,283	14,567	3,103,246	331	66	29.9%	49	845
2780	48,001,297	20,566	2,018,788	266	－ 16	75.3%	28	618
2640	24,571,600	12,844	2,353,478	118	24	46.8%	17	665
2650	104,438,196	22,459	4,499,656	575	－ 52	84.0%	52	1,176
2660	93,206,204	25,854	3,604,128	461	－ 11	75.0%	45	1,020
2670	38,643,213	12,816	1,374,917	152	－ 8	29.4%	19	437
2680	39,804,886	14,015	1,681,081	179	13	41.0%	23	679
2690	43,569,686	14,141	1,593,268	185	28	35.1%	29	508
2700	37,813,043	11,787	1,353,477	137	15	9.6%	24	637
2710	41,957,611	12,472	1,651,103	174	3	35.2%	23	614
2720	27,509,793	11,443	908,415	80	34	34.2%	19	403
2730	26,972,958	11,248	704,764	79	－ 13	28.4%	13	274
2740	27,645,939	12,314	1,002,526	121	－ 4	18.4%	14	432
その他	0	0	26,038					
合計	1,373,046,237 (注 1)	15,435	55,671,620	6,397 (注 2)	58	43.6% (注 3)	793	19,917 (注 4)

※太字は、各項目の上位 5 位の地区です。

(注 1) 地区以外からの寄付金は除外しています。地区以外からの寄付金は累計 2,603 万 8,286 円です。

(注 2) 2016 年 7 月～ 2017 年 6 月までに特別寄付をして、米山功労者として表彰された人数です。

(注 3) 2016 年 7 月～ 2017 年 6 月までに特別寄付をしていただいた個人の割合です。

(注 4) 奨学期間中の地区移動や、過去の再応募制度で他地区の奨学生となった人は、それぞれの地区でカウントしています。そのため、実際の奨学生累計数（1 万 9,808 人）を上回っています。

※米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見は、（公財）ロータリー米山記念奨学会まで。
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281 Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp

地域に 育て！国際人

倶知安RC 吉田 聡

世界的スキーリゾートならではのコンテスト

北海道虻田郡くちやん倶知安町（写真上）は北海道南西部に位置し、近年、世界的スキーリゾートに成長したニセコ地域の中心都市である。ニセコ地域は倶知安町、ニセコ町およびらんこし蘭越町の3町から成る。倶知安町にあるニセコグラン・ヒラフスキー場は、その類いまれなパウダースノーがオーストラリア人を中心に評判となり、2003年以降、外国人スキー客が激増。現在ではアジア各国からの観光客も増え、夏場にラフティング（川下り）を楽しむなど、年間を通じて外国人と触れ合う機会が日常的になっている。

具体的には、人口約1万5,000人の倶知安町における2015年度の外国人宿泊人数は10万人を超え、^{*}宿泊延数は約40万泊。北海道の人気観光地である札幌、函館、登別に次いで、第4位に位置している。隣接するニセコ町の宿泊延数を合わせると札幌に次ぐ第2位となり、今やニセコ地域は、外国人観光客にとって、北海道ナンバー2の人気エリアになっている。

増加する外国人に対応するため、スキー場近辺では、外資系のコンドミニアムやホテル、別荘の建設ラッシュ

であり、倶知安町では高級ホテルとして知られるハイアットグループのホテル建設がこの春から始まり、ニセコ町でもリッツカールトンホテルが進出を検討している。相次ぐ建設、周辺整備によって、10年前から見るとスキー場近辺の景色は一変し、地域は活況を呈している。

好調な建設、設備投資の一方、労働力不足が大きな問題となっており、冬場の宿泊施設のベッドメイクの仕事は、時給1,500円を超えても人が集まりづらく、特に英語ができる人材を集めることが非常に難しくなっている。

そこで、倶知安ロータリークラブ（RC）では増加する外国人観光客に対応する人材を育成するため、2016－17年度の青少年育成活動として、脇山潤青少年奉仕委員長（当時）が中心となり、中学生、高校生を対象とした英語観光案内コンテストを初めて実施した。

準備を重ね、当日を迎える

コンテストの内容は、JR北海道の倶知安駅にある、倶知安観光協会のインフォメーションセンターを訪れる外国人観光客に対し、中学生、高校生が観光協会の職員に代わって観光案内を試みるもので、英語を使う必要に迫られている倶知安町の特徴を生かそうと企画した。

* 宿泊延数＝観光客の宿泊回数の延べ数。1回の旅行で1人が2泊すれば、2泊分としてカウントされます。

2016年、日本を訪れた外国人の数が、初めて2,000万人を突破しました。日本政府観光局の発表では、今年上半期（1～6月）は前年同期比で約17%増。さらに、日本政府は2020年までに訪日客数を4,000万人とする目標を立てています。そんな中、世界中の友人たちと絆を結び、多くの懸け橋となる人材を育てているのがロータリークラブ。今回は9月号の「在住者支援編」に続き「訪日客支援編」として、外国人観光客への支援、地元の人たちとの交流を支援する取り組みから、2つの事例を紹介します。

コンテスト実施日の半年前から準備を始め、参加者の英語に対するモチベーションをどう高めるかを考えた結果、中学生と高校生の最優秀賞受賞者各1人に、オーストラリア語学留学の機会を提供することにした。幸いにも、この企画に賛同してくれた倶知安町をはじめ倶知安商工会議所、倶知安ライオンズクラブの有志から総額80万円を超える協賛金を集めることができ、町内の中学校、高校、語学学校に協力をお願いし、参加者を募集。その結果、中学生12人、高校生4人から応募があった。語学学校の協力の下、コンテストまでに4回のトライアルを重ね、そのスキルを磨いてもらった。しかしながら、本番までに中学生から5人、高校生からも2人の辞退者が出てしまった。

こうした準備を経て、観光客が多く訪れている冬期、2017年1月29日にコンテストを開催した。審査員は、倶知安RC会員に加え、倶知安観光協会理事であるオーストラリア人、イギリス人などをお願いし、英語のスキルはもちろんのこと、ジェスチャー、アイコンタクト、どれくらい観光客の質問の意図をくみ取っているか、資料などを使い分かりやすく説明している



コンテストの審査員も真剣そのもの



4回の練習を経て、本番に臨む生徒

か、そして、観光客がどれくらい満足していたかといった事柄を総合的に審査した。

若者の姿や表情から、確かな手応え

JRの列車が倶知安駅に到着し、インフォメーションセンターを訪ねてくる外国人観光客たち。彼らが求める情報に応えようと、中学生たちは身ぶり手ぶりも加え、自分の知っているお薦め情報なども混ぜて、必死に案内に務めていた。高校生たちは豊富な語彙力と情報を駆使して、相談者のリクエストに応じていた。もう十分にインフォメーションセンターの職員になれるのでは、と思われるレベルの生徒もいた。

参加者は各2回の案内を試みた。本番でうまくできた生徒、うまくできなかった生徒もいたが、コンテスト後の安堵した表情、充実した表情を見て、この企画を実施して本当に良かったと思った。

Welcome to Japan

町のにぎわいはロータリアンが創る

倶知安RCでは最低3年間はこの企画を継続していきたいと考えており、今年度も2018年1月をめどにコンテストを実施する予定である。

初回のコンテストで辞退者を出してしまった反省を踏まえ、このコンテストを通して、一人でも多くの若者たちが世界への扉を開き、羽ばたき、いつか戻ってきて、町の将来を担ってくれれば、これほどうれしいことはない。自分たちの住む町のにぎわいは、われわれロータリアンが創る。これ以上の社会奉仕はないであろう。最後に、最優秀賞に輝いた菅原風人君(当時中学3年生)の語学留学のレポートを紹介し、締めくくりとする。

(第2510地区 北海道)

オーストラリア語学留学レポート

菅原 風人

春休みの間の約2週間(2017年3月18日～4月3日)、僕はオーストラリアのシドニーで語学留学をさせていただきました。平日の午前中に授業を受け、放課後や週末はアクティビティーに参加したり、友人とダウントウンに遊びに行ったりしました。

語学学校では初日にテストがあり、翌日からその結果に応じたクラスで授業を受けました。先生は、難しい単語はホワイトボードに書き、具体例などを出して教えてくれました。有名な詩を、直喩(simile)や韻(rhyme)から習い、先住民であるアボリジニの生活などについて理解を深めたりしました。それなりに英会話には自信がありましたが、突然質問されると、スムーズに答えられず、自分の思い上がりを戒める機会になりました。クラスは主にアジア人で構成され、7割以上が中国人でしたが、彼らは分からないことは、すぐに先生に質問していました。分からないことをそのままにしないよう質問することが、学ぶためにはとても必要だと感じました。

ホームステイは初めての体験でした。「2週間生活できるかな」「うまくコミュニケーションを取れるかな」と不安でした。ホストマザーがドアを開けた時、僕の緊張を感じたのか、笑顔で「Welcome to our house!!」と言ってくれた瞬間、緊張が少し解けました。分かったことは、コミュニケーションは取ろうと思えば簡単に取れるということです。発音分からない時は紙に書いて伝えました。そんな方法でも2週間を過ごせたことは、大きな自信になりました。

通学にはバスを使いましたが、そこで、日本との違いを感じました。時刻表通りにバスは来ません。車内アナウンスもありません。自分の降りるバス停が近くなったらボタンを押すシステムでした。今後、外国に行く時はもう少し滞在先の情報を集めておくべきだなと思いました。

短い期間でしたが、英語を話さざるを得ない環境に身を置けたことが、今後の人生にとてもプラスになったと思います。また、オーストラリアの良さはもちろん、日本の良さも感じる事ができました。今回の経験を通じて、ただ座っておとなしく授業を受けることだけが勉強ではないと強く感じました。授業では積極的に、分からないことをそのままにしないことは、日本でも生かせると思っています。今後も外国に行ける機会があったら積極的に行動し、日本国内の常識に捉われず、国際的な視野を広げていけたらいいなと思います。このような機会を与えていただき、ありがとうございました。



シドニーの公園で。右が菅原君

たま電車に 4カ国語の 図書を寄贈

和歌山東南RC 土屋 一博



子どもたちに人気の「たま電車」

「たま文庫」の充実を支援

JR和歌山駅と貴志駅を約30分で結ぶ和歌山電鉄貴志川線は、地域特産のイチゴをモチーフにした「いちご電車」や真っ赤なボディーの「おもちゃ電車」といったユニークな電車を運行したり、三毛猫「たま」の貴志駅駅長就任による癒やし効果が話題になり、海外からの訪問者も増加していますが、経営は厳しい状況が続いています。

電車利用者を調査すると、近隣住民は言うまでもなく、外国人の観光客も多いことが分かります。たま駅長をモチーフにした「たま電車」内には、動物の本などを自由

に閲覧できる「たま文庫」が設けられていますが、「図書の傷みがひどく、補修をしながら何とかしのいでいる」との話を聞きました。そこで、当クラブでは「文庫」を充実させる案を社会奉仕委員会に諮り、2015年9月に創立45周年を記念して、計5駅にベンチを贈ったのに続いて支援することに決定。事業をより充実したものにするため、ロータリー財団の地区補助金を活用しました。

おもてなしを、外国人利用者にも

4月4日の贈呈式典には、福井隆一郎ガバナー（当時）の参加を得て、計350冊の本を贈りました。図書の選別は、電車内の本棚の寸法に制約があって、少し苦労しました。猫などに関する本のほか、子どもたちが楽しめる本、普段利用している地域の皆さんも興味が持てる本など、幅広い分野から選びました。

また、海外からの来訪者が多いことにも目を向け、日本文化などを紹介する中国語、韓国語、英語の本を寄贈しました。今回の取り組みが、地域の足となる鉄道を支援乗客を楽しませ、外国人観光客にとっても思い出に残る、おもてなしにつながることを期待しています。

（第2640地区 和歌山県）

贈呈式には伊太祈曽駅
駅長見習いの「よんたま」
も出席して記念撮影



Welcome to Japan

朝倉の被災地から

甘木RC 東 義輝

7月5日、午前11時ごろ、遠くから聞こえてくる雷鳴とともに、空は真っ黒な分厚い雲に包まれ大粒の雨が落ちてきました。雨脚は一向に弱まることはなく、雷がすぐ近くで落ち始めたころ、朝倉市役所分所の大雨避難注意のアナウンスが聞こえ始めました。午後4時になり、少し不安を感じ、職場から帰宅しようとしたのですが、どの道も冠水したのか田舎では珍しい大渋滞。車で5分足らずの道を1時間ほどかけて自宅に戻ると、すぐ近くを流れる桂川が見たこともない濁流となって勢いを増していました。朝倉に移り住んで25年目で初めて見る氾濫でした。

自宅の2階の窓から消防署員・警察官による川沿いでの人命救助の様子や、濁流と共に浮遊物となった車などが見え、ぼうぜんと立ち尽くすばかりでした。午後7時には停電。時折聞こえる市の緊急避難アナウンスは、注意ではなく「皆さん安全な場所へ逃げてください」の連呼に変わっていったように記憶しています。家の周りには冠水し、逃げようもなく家族全員で2階の部屋で過ごすしかありませんでした。夜中の1時ごろ、警察官の緊迫した声で「通常では考えられない方向から濁流が来るかもしれないので避難してください」と呼びかけられました。しかし車ではもうどこへも出られそうにもなく、そのまま一夜を明かしました。



夜明けとともに、周りの状況が見えてくると、あまりにも変わり果てた状況に^{あぜん}啞然。自宅は幸いにして排水溝から溢れた雨水での床下浸水程度で免れました。2日間かけて自宅の片付けを終え、何か手伝うことがあればと思い、近くの公民館に息子と2人で行きましたが、個別に手伝うように言われ、仕事上の付き合いのある方の事務所の泥出しの手伝いに行き、4日間へとへとになるまで頑張りました。

災害から1週間後、地元の緊急地区常会が開かれ、被災された人からは深刻な要望や意見が後を絶ちませんでした。私が住む比良松の124戸のうち、床上浸水の被害を受けた戸数は42戸。片付けをそれぞれしていましたが、各家庭から出される家具・家電と泥にまみれた



がれきの山が、集落内に悪臭と共に大量に積まれていました。協力できる人だけで、がれきの撤去作業を行うことになり、朝倉市で最初にごみ収集車の出動をしてもらい、私も含めて10人程度の協力者と比良松（下比）地区の篠崎英一区長とで、生ごみなどの回収から始めました。続いて区でダンプカーを借り、大型家具と家電の収集を行いました。集積場の混雑と運んでもきりがなごみの多さ、日に日に暑さを増す気温に、協力者の数も減っていききました。

協力要請の4日間が過ぎ、多少は減ったであろうがれきと増え続ける泥の山に、長期戦になる覚悟を決めた時でした。重機を持った3つのボランティア団体がわが集落で無言の支援に入っていたことを知りました。熊本県阿蘇郡の西原村商工会青年部の方々と福岡県太宰府市の(株)松幸工業の社員の皆さん、幡ヶ谷再生大学の学生さんたちです。そして、私は彼らと共に、篠崎区長のもとで活動することになりました。なんと、篠崎区長は元ロータリアン。定年とともに故郷・朝倉へ戻り、故郷への恩返しも含めて2期目の区長と旧朝倉地区の区長会会長を引き受け、今回の大災害は天命と思わせるくらいの行動力とリーダーシップは、目を見張るものでした。

私の商いは旅行代理店で、地元の方に7割近く依存していたため、災害直後からキャンセルが生じ、今後の見通しも立たない状態。時間だけはありましたから、約3週間開き直って協力しました。それと何よりも、人間的確に使いこなせる元ロータリアンがそばにいたからこそ、頑張れたのだろーと思います。

また、次にいつ台風が来るか分からないような時でも駆けつけてくれたボランティアには、感謝感激です。作業の現場でいろいろな人間模様を目の当たりにしまし

友がいて良かった！

甘木RC 重富 繁喜

今回の九州北部豪雨でたくさんの方々にお見舞いなどお気遣いいただき、ありがとうございました。

わが社も仕事再開までは、汚泥との闘いでした。工場内に汚泥の堆積は少なく被害も最小限だったものの、車庫や事務所などは、粘土質の汚泥の堆積で、敷地内で汚泥から免れたのは、自宅だけ。父が残していった盆栽や庭の木々も流されたり、汚泥が堆積したりしていました。

翌朝早くから、生活必需品や水の確保、復旧のめどを立てて頑張りましたが、一人の力はたかが知れています。この事態に、「大丈夫か」と、近隣の町や東京などからたくさんの友やロータリアンが応援に駆けつけ、助けてくれました。復旧作業は約2週間かかりましたが、無事に仕事が再開できました。

こんな時だからこそ、友がいてくれて良かった！このたび受けた恩は必ずどこかでお返しできるようにと思っています。

たが、自然の脅威と、人の心の二面性には太刀打ちできない悲哀を痛感させられたのも事実です。しかしこんなときこそ、本当に助力したいと支援してくださる日本人の心の温かさには、どんな映画やドラマでも味わえない大きな感動をいただきました。

日本全国のロータリアンの皆さま、励ましのお言葉とともに多大なるご支援をいただき誠にありがとうございました。甘木RCは災害に負けず、いち早い地元地区の復興に向けて、クラブ一丸となって尽力していきたいと思っています。

(第2700地区 福岡県)



九州北部豪雨災害義援金の報告と御礼

第 2700 地区ガバナー 安増 惇夫

平成 29 年 7 月九州北部豪雨に対しましては、全国のロータリアンの皆さま方から多大な義援金をお寄せいただきました。ロータリアンの皆さまのお心遣いと誠心からなる支援に、胸がいっぱいになるとともに、心から感謝しております。本当にありがとうございました。

本災害によって福岡県・大分県で 30 人以上が犠牲になられ、いまだ数人の消息が不明です。地域の社会インフラや緑豊かな自然を大きく破壊した未曾有の災害となり、ようやく本格的な復旧が始まりましたが、今もたくさんの方が仮設住宅で不便な生活を余儀なくされています。

大災害発生の直後から、地区内ロータリアンから支援



したいとの声が多く寄せられたため、地区幹事と協議の結果、地区内 61 クラブに、任意の義援金のお願いをしました。また、この災害を案じ

ておられた全国の同期ガバナーの皆さまからのお申し出が相次ぎましたため、各地区のガバナーの判断にお任せするかたちで、全国の地区にも義援金のお願いをするようになりました。

その結果、ロータリアンの皆さまから被災された方々へ寄せる心温まる心遣いとして、当地区を含め、総額 7,677 万 6,431 円の義援金をお送りいただきました。

お寄せいただいた義援金は、全国のロータリアンの心とともに 9 月 11 日、服部誠太郎福岡県副知事に贈呈してまいりました。服部副知事からは、「ロータリーからの支援は、本当にありがたいことです。全国のロータリアンの思いで集まった義援金を、被災地の復興に大切に使用させていただきます」と感謝の言葉をいただきました。また、当日は、多くのマスコミが取材に訪れ、地域社会に寄り添うロータリーの存在を認識してもらえたのではないかと思います。なお、その後お振り込みいただいた義援金も、追加して福岡県へお渡しいたします。

最後になりますが、今回の災害でお亡くなりになられた方々に心から哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまにお見舞い申し上げたいと思います。（福岡県）

各地区から寄せられた義援金内訳（2017 年 9 月 8 日現在）
（円）

地区	義援金	地区	義援金
2520	2,300,000	2710	3,407,194
2530	998,526	2720	4,000,000
2540	300,000	2730	1,800,000
2550	1,640,000	2740	2,326,689
2560	2,500,000	2750	3,406,526
2570	2,115,000	2760	3,975,006
2580	3,644,264	2770	3,042,607
2590	2,000,000	2780	2,500,000
2600	966,250	2790	2,992,708
2610	1,935,124	2800	300,000
2640	3,000,000	2820	1,250,000
2650	5,000,000	2830	718,557
2660	5,033,251	2840	2,000,000
2670	2,000,000	如水会	50,000
2680	2,903,656	個人	20,000
2690	3,000,000	利息	16
2700	5,651,057	合計	76,776,431

※各クラブからの義援金は、地区ごとに合算しています

ホタル観賞の集いで募金活動

7 月 22 日に川口市立グリーンセンターで「ホタル観賞の集い」が開催され、当クラブは「模擬店」を出店。午後 5 時から無料開放され、入場者 5,000 人が集いました。

地区から「九州北部豪雨災害義援金ご協力をお願い」が来ていたこともあり、早速、社会奉仕委員会が街頭募金として看板を設置して、募金を呼びかけました。集めた募金は、クラブ会員の募金と合わせて 8 月 2 日に地区ガバナー事務所に送り、18 日に第 2700 地区ガバナー事務所へ送金されました。

（第 2770 地区 埼玉県）

川口北東 R C 会長 木内 賢治



People of Action

世界を変える行動人

公共イメージ向上のためにロータリーが立ち上げた新しいグローバル広告キャンペーンに、皆さまのご協力をお願いします。

1

brandcenter.rotary.org/ja-JP へアクセス

国際ロータリー（RI）のウェブサイトの「ブランドリソースセンター」で「世界を変える行動人」キャンペーンの素材をダウンロードしましょう。キャンペーンのガイドラインや動画、ソーシャルメディア用の画像、印刷用広告、ロゴなどを用意しています。

2

クラブの仲間と共有しましょう

特に、広告業に携わっている会員なら、地元で広告を出す際に力になってくれるでしょう。

3

地区の公共イメージコーディネーターと連携して

さらなる指針を仰いでください。

4

ソーシャルメディアを活用

キャンペーンの動画や画像を共有しましょう。

5

RIマーケティング担当部に

成功例や質問は pr@rotary.org まで。



これらのソーシャルメディア用の画像を、クラブが地元で実施している活動を更新する時に、一緒に投稿して、皆さんの地域社会にインスピレーションを広めましょう。Facebookでは、100ドル以下で郵便番号による広告ターゲット設定を行うことができ、それによって広告表示を強化し、アクセス数を大幅に増やすことができます。



People of Action

新しいグローバル広告キャンペーンの 立ち上げにご協力を

ロータリーとは？

ロータリーという名前を耳にしたことのある人は多くても、ロータリークラブの活動内容を理解している人は、実はあまりいません。世間の35%の人が、地元のクラブも含めて、R Iのプログラムについてもよく知らないというのが現実です。そのため、ロータリーは「世界を変える行動人 (People of Action)」という新しいグローバル広告キャンペーンを立ち上げました。広告はR Iのウェブサイトの「ブランドリソースセンター (brandcenter.rotary.org/ja-JP)」でダウンロードできます。また、世界各地のクラブで一貫した、説得力のあるストーリーを発信するために、素材の活用法、カスタマイズの方法についてのガイドラインも入手できます。

大事なポイント

誰に訴えかけるか？

このキャンペーンは、ロータリーのことを知らない人や自分には関係がないと思っている人が対象です。地域社会に変化をもたらしたいと思っている潜在的な会員や、ロータリーの活動に関心がある人、地域社会で他の人々と関係を築きたいと思っている人に、このキャンペーンを通じて訴えかけるも

のです。

キャンペーンのテーマが「世界を変える行動人」なのは？

ロータリアンは皆、地域社会と世界をよりよくするために行動を起こそうという、情熱を持っています。他の人なら問題に目が行くところを、私たちは解決策を考えているのです。これは、ロータリアンが自分たちの地域社会でできることを一般の人に示し、さらに多くの地域のリーダーがロータリーに入会することで、達成できることを強調する機会です。

どのような素材が入手できる？

「ブランドリソースセンター」では、動画やソーシャルメディア用の画像、印刷・デジタル両方の広告が用意されています。

キャンペーンで取り上げられる人々やプロジェクトは？

キャンペーンの初回広告では、アメリカ・コロラドとブラジルのロータリアンが取り上げられ、実際のプロジェクトに着想を得たストーリーが紹介されています。今後、ロータリアンのストーリーを次々に取り上げていく予定です。

クラブや地区は、自分たちのプロジェクトの写真を使ってキャンペーン素材をカスタマイズできるのですか？

はい。「ブランドリソースセンター」で、地区やクラブがキャンペーン素材を自分たちの写真を使ってカスタマイズするためのガイドラインを、入手できます。

キャンペーンを地元で行う方法は？

キャンペーンを地元で行うためのヒントは「ブランドリソースセンター」で入手できます。キャンペーンの画像をクラブや地区のウェブサイトで使ったり、ソーシャルメディアに投稿したり、イベントで広告を掲示するなど、素材を使ったいろいろな方法を、紹介しています。

広告の購入方法や無料広告スペースの確保の仕方が分からない場合は？

メディア計画の策定、広告の購入、無料広告スペースの確保についてのガイドラインは、「ランドリソースセンター」でご確認ください。さらに、R Iマーケティング・コミュニケーション担当部は、クラブや地区のリーダーを対象にメディア計画に役立つウェビナーシリーズを開催しています。

従来の「リーダーのネットワークへ」「アイデアを広げる」「行動する」というロータリーのブランド・ポジショニングとの関係性は？

「世界を変える行動人 (People of Action)」キャンペーンは、「ロータリーに所属する地域社会のリーダーが結集し、ビジョンを共有し、解決策についてのアイデアを交換し、実現させるために行動するとどういったことが起こるのか」という点に光を当てて、ロータリーブランドに命を吹き込みます。

キャンペーンについての問い合わせは？

「世界を変える行動人 (People of Action)」キャンペーンについてのお問い合わせは、pr@rotary.orgにご連絡ください。



上段と中段：地元の印刷物の
の広告専門家と協力して、
フルカラーの広告を地元の
雑誌や新聞に載せましょ
う。下段：ロータリーの看
板広告は年末に公開予定。
看板スペースの購入方法に
ついては、R I ウェブサ
イト (www.rotary.org/ja)
の「ブランドリソースセン
ター」をご確認ください。



Rotary.org

World Roundup

世界のロータリーニュース



イギリス

中西部のワイルドグリーンRCの会員十数人がウィルソン・スチュアートスクールの児童30人と教師、管理人と共にスタッフォードシャーにあるドレイトンマナー・テーマパークを訪れました。この日は第1060地区のナショナル・ロータリー・キッズ・アウト・デー。4,600人の恵まれない青少年や障害のある子どもたちがロータリアンからテーマパークに招待されました。「子どもたちが目を輝かせていろいろな乗り物を体験しているのは喜ばしい光景でした」と会員のアーサー・ロウ氏は言います。中には機関車トーマスの乗り物で遊ぶ子どもも。毎年6月に開催されるキッズ・アウト・デーでは、約2万5,000人の子どもたちに、海岸やテーマパーク、動物園、公園など、90カ所以上の行楽地への遠足がプレゼントされます。

50世帯が暮らせるダヤク族のロングハウスの長さは600フィート（約183m）を超えます。



タンザニア

スクール・オブ・セント・ジュードの創立者であるオーストラリア人のゲマ・シシア氏がロータリアンに行ったプレゼンテーションに刺激を受けた、ニュージーランド・オークランドのセントジョーンズRCに所属するアレックス・マッケンジー氏が、妻のウェンディさんと共に、アルーシャにある、特定宗派に限定されないキリスト教系の学校と関わり始めて12年になりました。今年初めにも3カ月間、ウェンディさんは小学校の教師のメンターを務め、マッケンジー氏は設備を整備するボランティアをしました。オーストラリアのアーミデールRC、タムワースRC、インヴァレルRCから初期資金を得て2002年に開校した際の生徒数は3人でしたが、今では3校が開校し、1,800人が在籍しています。



マレーシア

ボルネオ島の先住民ダヤク族にとって、暮らしの中心にあるのは、住居であり地域社会の交流拠点であるロングハウス（一棟に多数の家族が居住する家屋）です。「屋根付きの村のようなもの、一つ屋根の下に地域社会が丸ごと収まっています」と、ピントゥルセントラルRCの元会長リニー・リー氏は言います。ただ、多くの家族が暮らすこの木造家屋には、火事に弱いという弱点があります。人里離れた熱帯雨林の奥深くにあるため、なおさら消火活動が困難なのです。同クラブでは2011年以降、会員がサラワク州全土を徒歩で横断し、100軒のロングハウスに1,700本以上の消火器を取り付けました。この2万7,000ドル（約290万円）規模のプロジェクトでは、研修と再研修が非常に重要な部分を占めますが、さまざまな企業や病院、慈善団体の後援が得られた、とリー氏は話します。

過去 27 年間で 65 万人の子どもたちがイギリス
のキッズ・アウト・デーに参加しました。



アメリカ

人口約 12 万 7,000 人の街、カンザス州トピカでも、人種、宗教、階級における行き違いなど、争い事がないわけではありません。トピカ RC 会員のザック・アーレン氏は、「なにしろブラウン対教育委員会裁判があったのはこの街ですから」と言います。これは 1954 年にアメリカ合衆国最高裁判所が学校での人種分離を違法とした裁判のことです。「昔から、平和と紛争解決へのニーズが身近にありました」。アフリカ系アメリカ人社会と警察との間に対立があり、『一肌脱いでもらえないか。ロータリーに声を上げてほしい』と地元の人たちに頼まれました」とアーレン氏は言います。

「そこで、トピカの 4 つのロータリークラブと連絡を密に取り合い、力になりたいと考えました」とアーレン氏。その結果、トピカ RC、トピカ北 RC、トピカ南 RC、トピカ西 RC に所属するロータリアンから成る「トピカ・ロータリー平和と正義イニシアチブ」が発足しました。

2016 年 11 月には、地元のイスラム教指導者を招いてプロジェクト初の講演会を開き、イスラム教への理解を深めました。ほかに、発砲するかしないかの判断を下す現場のシミュレーション体験を通して、警察官が下さなければならないとっさの判断をロータリアンたちは学びました。ロータリー・フリーダム・フェスティバルではカンザス州の歴史と多様性を記念してコンサートや歴史再現劇、子どもたちのためのピースセンターなどのイベントが一日がかりで行われました。

—ブラッド・ウェーバー



ブラジル

教会の信者グループと高齢者センターを改修するためにブラジルの貧しい地域を旅したことがきっかけで、アメリカ・カリフォルニア州サトガ RC の元会長のウェス・トイ氏は、よりよい支援の方法はないかと模索しました。サトガ RC は 2014 年には 1 万 2,000 ドル（約 130 万円）を超える地区財団活動資金を得て、サンパウロから 140 マイル（約 225km）北にあるカコンデの診療所にベッド、テーブル、医療機器と医療用品を提供しました。2 年後には再びブラジルを訪れ、カコンデ RC の元会長フランク・メグダ・ブラスク氏の指揮のもと、5,300 ドル（約 60 万円）をかけて児童養護施設に容量 4,000 ガロン（約 1 万 5,000 ℓ）の給水タンクを設置しました。

ロータリー財団 100 周年を祝う

財団学友の上岡敏之さん 新日本フィル交響楽団の音楽監督に就任

茅ヶ崎RC 大箭 剛久

クラシック音楽に造詣のある方ならご存じだと思いますが、昨年、新日本フィルハーモニー交響楽団の音楽監督に上岡敏之氏が就任しました。実は彼は、今から 32 年前に当クラブの推薦を経てドイツのハンブルク音楽大学に留学したロータリー財団学友なのです。かの地で指揮者として数々の成功を取めた後、このたび新日本フィルの音楽監督に迎えられました。

それを機に、「茅ヶ崎ロータリークラブ（RC）の皆さんに恩返しをしたい」と、横浜での凱旋公演に会員 20 人を招待していただいたのが昨年 12 月。その際の参加者から「大変素晴らしい演奏だった」という声が数多く寄せられ、せっかくのご縁なので、親睦家族旅行は、新日本フィルの横浜公演に合わせて実施しようという話になりました。

当日 5 月 12 日は会員とその家族 35 人が参加。早めの夕食の後、コンサート会場「みなとみらいホール」へ。演目はワーグナー「タンホイザー序曲」に始まり、ソプラノ歌手のカトリン・ゲーリングを迎えた「ヴェーゼンドンク歌曲集」、そしてブルックナー「交響曲第 3 番二短調」と、上岡氏の指揮による演奏は斬新、かつ意欲的なスタイルで、もっと長く聴いていたくなるような好演でした。

演奏終了後、会長をはじめとする数人の当クラブ会員



カウンセラーの池上實夫妻（前列の）でほほ笑む上岡さん（中央）。（後列左から、清水賢一会長（当時）、田中賢三、バスターガバナー夫妻）

が上岡氏の楽屋を訪問することになりました。その中には 32 年前、カウンセラーとして上岡氏の世話に当たっていた池上實会員もいました。楽屋に入り、スタッフの方に「茅ヶ崎 RC の皆さんです」と紹介いただいた時には、上岡氏もすぐには気付かなかったようですが、池上会員が「誰だか分かりますか？」と尋ねると、しばらくじっと顔を見つめた後、満面の笑みで「先生だ！ 僕の先生だ！」とがっちりと手を取って旧情を温め合いました。32 年の時を超えての再会に、その場にいた一同も胸が熱くなりました。

今回の旅行で、改めてロータリーの素晴らしさを感じることができました。また一つ、感動の物語をつづってくださいました諸先輩・関係者の皆さまに感謝いたします。

お帰りなさい、上岡さん

元財団奨学生カウンセラー 池上 實

プログラム最終曲、ブルックナーの「交響曲第 3 番」が鳴り止み、長い静寂の時が流れました。オーケストラの奏者はもとより、ホールを埋め尽くした聴衆も咳払い一つすることなく、共鳴・共感の振幅があっという間に



人々に伝わるのを感じたのです。指揮者、上岡敏之さんの両肩から静かに力が取れ、その瞬時、万雷の拍手が沸き起こり、いつ果てるとも知れぬ喝采を止めたのは、上岡さんのタクトで奏で始めたアンコール曲、バッハの管弦楽組曲第 3 番より「アリア」でした。

三〇数年前、ロータリー財団奨学生のカウンセラーを命じられた私は、彼と一緒にロータリー精神を学ぶべく、行動を共にしました。もろもろの事柄が脳裏に浮かんできます。不覚にもまぶたに涙がにじみ出て、隣席の妻に気付かれぬよう眼鏡を直すふりをして、アリアの優しい旋律を全身にまといました。

若い日、地元の学校訪問交歓会やクラブのクリスマス家族会での彼の真摯なピアノ演奏の姿が思い出され、偉大な音楽家として帰国してくれたことがこの上なくうれしいです。

（第 2780 地区 神奈川県）

上岡音楽監督に聞く ——留学時代……そして今



©青柳聡 / 新日本フィルハーモニー交響楽団提供

ロータリー財団の奨学生として留学していたころ、どのような学生生活を送っておられましたか？

当時、特別な学生寮に住んでいました。ここには、6割が医大生、4割が音大生で、別棟には24時間練習できるアップライトピアノの付いた部屋が25室ありました。また、小さなホールもあり、自分たちで企画して、演奏会やディスコパーティー、料理の会などいろいろなことをしていました。学校の授業の後には、ほとんど毎日のようにハンブルク歌劇場へ行き、オペラを観ていました。

奨学生時代、苦労したこと、うれしかったこと、心に残っている出来事などについてお聞かせください。

ハンブルクで生活できることがとてもうれしく、大学のカリキュラムは多かったのですが、大好きな音楽を勉強していたので、苦労を感じたことはありませんでした。また、私に対する評価は、日本での評価と全く逆となり、ドイツでは問題なく受け入れてもらえたことも大きかったと思います。ロータリークラブとの交流はたくさんありました。私の顧問ロータリアンはDr. Voltzさんで、内科医でした。彼の仕事の合間に食事に誘っていただき、ご自宅でのホームパーティーにも何度も招待していただきました。もちろん他のロータリアンからも同じようなお誘いがあり、一緒に旅行に連れて行ってくださったこともありました。

奨学期間を終えた後のドイツでの活動・経験について教えてください。

私は幸いにして、留学2年目の時にハンブルク音楽大学の室内楽、リートクラス、副科ピアノの講師を任されました。その後、教授の話もいただいたのですが、同時期に、ハンブルクよりもう少し北にあるキール歌劇場から、コレペティートルの打診を受け、散々迷った末、歌劇場に行くことに決めました。その後の30年間は、歌劇場での生活が続きしました。

* Korrepetitor = オペラの練習時に、オーケストラの代わりにピアノ伴奏をしながら歌手に稽古をつける指揮者のこと

新日本フィル第4代音楽監督に就任してちょうど1年がたちますが、今後どのようなオーケストラを目指していきたいとお考えでしょうか。

オーケストラ団員のそれぞれが持っている音楽を最大限に引き出して、新日本フィルでしかできない音楽、響きが出てきたらと願っています。そして、彼らが皆さまの心に長くいつまでも残ってほしいと思っています。



©青柳聡 / 新日本フィルハーモニー交響楽団提供

上岡敏之 (Toshiyuki Kamioka)

東京藝術大学でマルティン・メルツァーに指揮を師事し、作曲、ピアノ、バイオリンも並行して学ぶ。1984年、ロータリー財団の奨学生としてハンブルク音楽大学に留学し、クラウスパーター・ザイベルに指揮を師事。キール市立劇場ソロ・コレペティートルおよびカペルマイスターとして歌劇場でのキャリアを開始。ヘッセン州立歌劇場音楽総監督、北西ドイツ・フィル首席指揮者、ザールランド州立歌劇場音楽総監督、ヴッパータール市立歌劇場インテンダント兼音楽総監督などを歴任。手兵ヴッパータール響とは2度の日本ツアーも大成功させた。2016年9月より新日本フィルの第4代音楽監督に就任。また、コペンハーゲン・フィル首席指揮者、ザールブリュッケン音楽大学指揮科正教授も務める。2007年第15回渡邊暁雄音楽基金音楽賞・特別賞、2014年第13回齋藤秀雄メモリアル基金賞を受賞。

日本のロータリー 100周年を迎えるにあたり

日本のロータリー 100 周年実行委員会
委員長

齋藤 直美 (R I 理事)



日本のロータリー 100 周年実行委員長をお引き受けして、身の引き締まる大役をお受けしてしまったと忸怩たる思いであります。

「日本のロータリー 100 周年実行委員会（以下 100 周年委員会）」は今春、日本の全クラブ（2,264 クラブ・5 月末現在）にアンケート調査を行いました。61.4%という高い回収率で、回答をいただきました。会員の皆さまには、この誌面を借りて、厚くお礼申し上げます。

なおアンケート結果は、追って報告させていただく予定ですが、今回はこのアンケートの回答の中から、100 周年関連事業に限ってまとめて、簡略ながら述べさせていただきます。

日本のロータリー 100 周年の祝い方を考える

まず第一に、100 周年記念大会という盛大な祝賀会を開催するか否か？ という難題があります。日本のロータリーを賛否両論の 2 つに分けてしまいそうな大祝賀会（例えば、東京ドームを借り切って、1.5 万～2.3 万人のロータリアンと、会を一般に公開し、市民数万人と一緒に祝うイベント）を開催するとしましょう。

費用と、準備に費やすロータリアンの労力、およびその開催効果、そしてなにより、東京以外の地区の会員と、その周辺の地域の皆さまのお考えを考慮すると、開催は悲観的にならざるを得ません。むしろ今後の日本のロータリー運動に、大きな影響を与えかねないリスクが考えられます。

ロータリーが地域で輝くためには、その地域の会員の声を大切にしたいプログラムを組む必要があります。国際ロータリーという大きな組織の中のプログラムに協力しながら、一方では、自分の周りのプログラムを作り上げていくことが大切なことと考えます。

これからの 100 年を見据えたビジョンを

次に「日本のロータリーのビジョン」の策定があります。これは、これからの日本のロータリーの 100 年を見据えた大きな方針、道しるべであります。日本のロータリーの姿のバックボーンになるべき、分かりやすい言葉で語るフレーズが必要と考えます。ビジョンは、この

100 年の区切りを良い機会と捉え、ぜひとも策定したいと思います。そのためにビジョン策定委員会では、活発に討論を重ねています。

また、それにも増して大切なことは、このようなビジョン声明を各地区・クラブでつくっていただくということです。自分たちの地区・クラブの存在価値がはっきりし、自分たちの行うべきことが鮮明になると思います。2017 - 18、18 - 19 年度を準備期間とし、20 - 21 年度開催の各地区大会やインターシティ・ミーティングにて発表し、「100 周年記念〇〇ロータリークラブビジョン声明」とするのはいかがでしょうか。

100 周年を公共イメージ向上に生かす

次に細かいことを申し上げれば、記念バッジやロゴマークを作り、「財団 100 周年」のように全国でこれを使い、さらには外国の友人に、海外でのメイクアップに、青少年交換の学生に使用していただき、「日本のロータリーは 100 周年を迎えたよ」と PR していきたいものです。今回の直近のアンケートによれば、「公共イメージ向上のためのまたとないチャンス」として捉え 100 周年を利用したい、という結果が出ています。また、イベント開催にあたっては、冠をぜひつけてください。

いずれにしても、あまりお金をかけずに自分たちの知恵で 100 周年をしっかりと祝いたいものです。

(第 2760 地区 愛知県 2006 - 07 年度ガバナー)

注) 東京ロータリークラブが 2020 年 10 月 20 日、創立 100 周年を迎えます。すなわち、日本にロータリーが誕生して 100 周年です。日本の 100 周年委員会は準備期間を経て、2016 年 7 月 1 日正式にスタートしました。詳細は本誌 2016 年 9 月号横組み P40 ~ 41、2017 年 5 月号横組み P41 を参照ください。

NEW GENERATION

———ニュージェネレーション

縁あってロータリーに触れた若者たち。彼らはいま、何を思い、どんなことに挑戦しているのでしょうか。

将来の夢

元ロータリー財団奨学生 平塚あゆ美

フィリピンで半年間インターンをし、貧困地域の子どもの生活を向上させるプロジェクトに携わりました。子どもの置かれている過酷な現実を知るとともに、劣悪な居住環境に負けない子どもたちの、計り知れないパワーを間近で感じました。また、教育の持つ可能性や意味を実感し、今後は教育と開発を軸に働きたいと思いました。そのためには専門的にさらに学ぶ必要があると考え、グローバル補助金奨学生として、イギリスのイーストアングリア大学大学院の教育と開発コースに進学しました。

将来は教育と開発の専門家になりたいと考えています。今も基本的教育から阻害されている人たちに、どのようにしたら教育の機会や質の高い教育を提供できるか、といった問題に取り組みたいです。教育は、その国、



その地域の持つ知識、文化、価値観を大切にし、同時に他の文化、価値観を理解し尊重できるものであるべきだと思っています。まずは、9月末から行っているザンビアでのJICA（国際協力機構）のインターンシップです。同国の教育省で、教育の質向上プロジェクトに携わります。

東京都出身。2016 - 17年度第2750地区グローバル補助金ロータリー奨学生としてイギリス・ノリッジのイーストアングリア大学大学院へ1年間留学、修士課程修了。東京日野RCが実施する「ブリテッシュヒルズプログラム国内留学」2期生。東京都在住。

10年以内にロータリアンに

元ローターアクター 深谷 元

僕は、6年間ローターアクターを経験し、異業種の人と交流したり、ロータリアンのお話を聞いたりするうちに、ロータリアンになりたいと思うようになりました。多くのロータリアン同様、会社経営者になることを目指し、現在、管理職として働く傍ら、サイドビジネスに挑戦しています。



もともと、物作りに興味が有り、溶接工として特殊コンテナやタンク、階段などさまざまな物を作っていたた

め、自分の好きなことを仕事に生かせないかと思い、内装、外構工事のサイドビジネスに取り組み始めました。休日などに、知り合いの現場に行き、コンクリートの型枠を組む仕事を手伝ったり、知り合いの職場に行き、溶接の手伝いをしたりして経験を積んでいます。道具は自前で購入し、今は自宅のフェンスを壊して新しく交換しているところです。まだ修業の身ですが、知り合いから駐輪場とカーポートの仕事を依頼されているため、本業の休みの日に進める予定です。

常に挑戦し続ける人生でありたいので、挑戦している時が楽しいです。どうしたら上手くできるのだろう？と考えたり勉強したりして自分が成長していくことにやりがいを感じています。将来的には、200坪くらいの土地に鉄筋コンクリート造りのアパートを建てて、経営することを考えています。

愛知県大府市出身。2017年6月末に名古屋中央RACを年齢退会。(株)メイリン 東レ東海営業所所長代理。ローターアクトの活動を通して知り合った女性と結婚。東海市在住。

●皆さんの周りの若い人をご紹介ください！ ロータリーのプログラムに参加したことのある10～30代までの若者（現役、学友どちらも可）を『友』編集部にご推薦ください。記入用紙は『友』ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp からダウンロードできます。



今月はスケルトンです。ロータリーのことはよく分からない、という人もご心配なく。パズルは一般的な問題で、ご家族の方も楽しめます。ただし、二重枠に入った文字を入れてできた言葉とロータリーには少し関係があります。どんな関係かな。ロータリーのこと、ちょっとずつ学ぼう。

パズル制作／ニコリ

ルール

リストの「世界の国の名前」を、すべて盤面の中に入れてみましょう。言葉の入る方向は、上から下、左から右のどちらかで、1マスに1文字が入ります。タテヨコの言葉が交差するマスでは、同じ文字を使うのがヒントになります。小さい「ア」「エ」「ヤ」は大きな「ア」「エ」「ヤ」として入れてください。

【リスト】

2文字

タイ

4文字

イタリア

エジプト

6文字

アルジェリア

アルゼンチン

オーストリア

3文字

ガボン

ブータン

ブラジル

ベトナム

リベリア

7文字

オーストラリア

ブルキナファソ

5文字

エリトリア

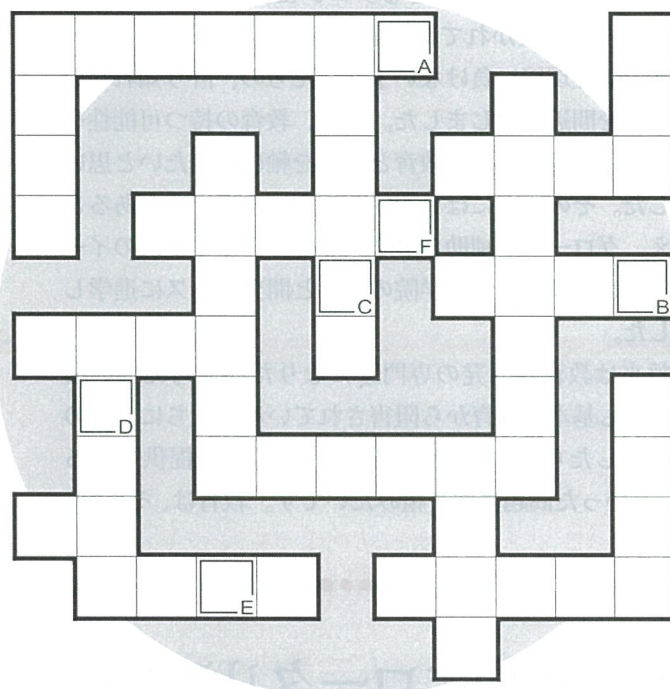
ジャマイカ

ポーランド

二重枠に入った文字をA～Fの順に並べてできる言葉は？

答

A B C D E F



毎月10人にロータリーの友名前入り針なしステープラーをプレゼント!!



※色はお選びいただけません。

◆応募方法◆ 郵便はがきに、①「10月号の答え」②名前③所属クラブ④今月号で印象に残った記事をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階 (一社)ロータリーの友事務所P係までお送りください。②～③の情報、および④に関する回答は、誌面企画の参考と、今月号から始まった「声」欄に転載させていただきます。会員以外のご応募も大歓迎です。

◆締め切り◆ 2017年11月10日(金) 必着

「パズル de ロータリー」(7月号)の答え

7月号の答え「アポロケイカク」

アポロ計画は、アメリカ航空宇宙局(NASA)による、人類初の月への有人宇宙飛行計画です。この計画に沿って、1969年7月、アポロ11号の機長として人類で初めて月面に降り立った宇宙飛行士、ニール・アームストロング氏



ル・アームストロング氏(1930～2012)は、実はロータリアン。アメリカ・オハイオ州、ワパコネタRCの会員でした。ロータリーの新しい年度から既に3カ月。皆さまはどのような第一歩を踏み出されたのでしょうか。新たな挑戦を、ぜひ『友』誌にお伝えください。

応募総数 181人 正解者 180人

当選者(敬称略・順不同)／平井豊(石岡87RC)、柴崎恵子(三島西RC)、金子公久(成田コスモポリタンRC)、小野邊薫(横浜あざみRC)、林裕行(津南RC)、西川政美(日本ロータリーEクラブ2650)、村越正道(能代RC)、高原弘海(岡山後楽園RC)、袴田文治(静岡西RC)、田中順子(大阪天王寺RC)

来月のパズルは、数独。お楽しみに！



第 46 回ロータリー研究会ご出席のお願い

第 46 回ロータリー研究会招集者 R I 理事 斎藤 直美
 第 46 回ロータリー研究会招集者（企画担当） R I 理事 石黒 慶一
 実行委員長 池田 徳博

今年のロータリー研究会は、昨年名古屋から再び東京に場所を移し、11月20日（月）～23日（木・祝）までの4日間の日程で開催いたします。

本研究会にはイアン H. S. ライズリー国際ロータリー（R I）会長夫妻、ポール A. ネットェルロータリー財団管理委員長のご臨席で、R I テーマ「ロータリー：変化をもたらす」のもと、本研究会の理念「日本の心をどう世界に発信するか」に基づきプログラムを企画しました。

今、ロータリーに変革が求められていることは、ご案内の通りです。これに基づき3つのセッション「日本のロータリー 100 周年を迎えてもう少しの努力」「日本の元気なクラブ」「変化をもたらす日本のロータリーの将来ビジョン」を設け、シニアリーダーに限らず多くのロータリアンの皆さまと共に、未来に向けて日本のロータリーの発展を考える機会にできれば、と考えております。

記念講演は、山形県鶴岡市にある慶應義塾大学先端生命科学研究所所長の富田勝氏にお願いしています。地方都市から世界に何をどう発信すべきかの示唆をいただけるものと期待しております。

なお、例年行われている「配偶者プログラム」は、今年度は企画していません。配偶者の皆さまには本会議や晩餐会などに出席していただき、現在のロータリーの置かれている現状を肌で感じ、さらに親睦を深めていただければ幸いです。

お申し込みは各地区ガバナー事務所へお願いします。全国から大勢の方のご参加をお待ち申し上げます。

スケジュール

11/20 (月)	10:00～17:00 ロータリー財団セミナー
11/21 (火)	10:00～17:00 メジャードナー午餐会、ガバナー会、ガバナーエレクト研修セミナー、ガバナーノミニ研修セミナーほか 18:00～20:30 R I 会長ならびに財団管理委員長歓迎晩餐会
11/22 (水)	9:00～17:00 ロータリー研究会1日目 19:00～21:40 希望晩餐会 東京湾クルーズ船上パーティー（予約定員制）
11/23 (木・祝)	9:00～14:30 ロータリー研究会2日目 (13:00～14:00 記念講演)

※登録などの詳細については、各地区ガバナー事務所にお問い合わせください。

会場

グランドニッコー東京 台場

〒135-8701 東京都港区台場2-6-1

Tel: 03-5500-6711

ご不明の点は下記事務局まで

第 46 回ロータリー研究会事務局

〒997-0034 山形県鶴岡市本町3-2-3

Tel: 0235-29-6076 Fax: 0235-29-6077

E-mail: ri2800.ikeda@gmail.com



画像提供：台湾観光局 / 高雄市政府



台湾 高雄に行きましょう

第6回 日台ロータリー親善会議のご案内

日台ロータリー親善会議総裁

板橋 敏雄

日台ロータリー親善会議議長

第2580地区ガバナー

吉田 雅俊

日台ロータリー親善会議（台湾では「台日国際扶輪親善會」：法律で認められた法人団体です）の発足は、2007年2月に開催された第2580地区の地区大会で国際ロータリー（R I）会長代理を務められた林士珍パストガバナー（P G）と佐藤千壽P G（故人）、前川昭一P G、小澤秀瑛ガバナー（当時）をはじめとする皆さまの歓談の中で「日韓親善会議があるのになぜ日台親善会議がないのか？」という共通の思いから始まりました。2008年5月に第1回日台ロータリー親善会議が東京で開催されて以来、第2回は台中・日月潭、第3回は京都、第4回は台北、第5回は金沢と回を重ねてきました。そして、第6回の開催は、台湾の高雄で行われます。

皆さまもご存じの通り、日本と台湾は政治的には国交

がないなどの課題はありますが、経済・文化をはじめ、お互いにさまざまな分野での交流を深めています。特筆すべきは、東日本大震災と福島原発事故に際して多額の義援金をいただいたことであることは言うまでもありません。国を超えた人間同士の温かい絆が存在することに他ならないものと確信しております。もちろんロータリーにおいても日台間で姉妹クラブや友好クラブを締結している例もたくさんあります。

今回の高雄大会実行委員会では、合同会議・懇親会はもちろんのこと、日本のロータリアンの皆さまと一緒に台南・高雄を巡る1日ツアーも、台湾側で企画してくださっています。日本からの多数の皆さまに参加たまわりたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

開催日 2018年3月1日（木）13：00から

会場

- ・会議・式典 高雄漢来大飯店9階 国際ホール
- ・懇親会 同会場

登録料 会員1万5,000円 配偶者1万円

登録締切日 2017年11月30日（木）

※詳細は、各地区ガバナー事務所にご案内いたします。
クラブ事務局を窓口にして、各地区のガバナー事務所を通じてお申し込みください。

プログラム

13：00～14：00 登録受付

14：00～15：20 会議、あいさつ、活動報告

16：15～ 記念講演 総統 蔡英文

16：40～ 台湾ロータリー近況報告 邱秋林

16：50～ 日本ロータリー近況報告 吉田雅俊

17：00～ 次回大会の案内（日本・福岡）

大島英二

休憩

18：30～20：30 親善大会晩餐会

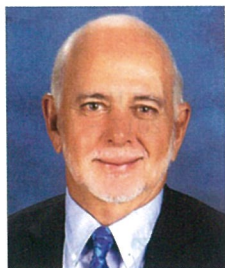
お問い合わせは

日台ロータリー親善会議議長 吉田雅俊 第2580地区ガバナー事務所

TEL.03-3538-0211 FAX.03-3538-0212 E-mail office@rid2580.org



2018 - 19 年度国際ロータリー会長 にバリー・ラシン氏が選ばれる



サム・オオ
リ国際ロータ
リー（R I）会
長エレクトの急
逝により、会長
指名委員会から
2018 - 19 年度

国際ロータリー（R I）会長として選
出されていた、バハマ・ニュープロビ
デンス島のイーストナッソー・ロータ
リークラブ所属のバリー・ラシン氏が、
イアン・ライズリー R I 会長によって
9 月 1 日、R I 会長エレクトとして宣
言されました。

ラシン氏は会長として、公共イメ
ジの向上と、ロータリーのインパクト
を広げるためのデジタルツールの活用
に力を入れたいと考えています。

「ロータリーの使命を支える活動に
関心のある人全員が参加できるよう、
参加や入会を促進する新しい方法を考
えなければなりません」とラシン氏。
「ロータリーがもっと注目されれば、

より多くの人に入会の魅力を伝え、世
界中で多くの良いことを実現している
この組織を支えることができます」

フロリダ大学で保健・病院運営の
M B A を取得し、American College
of Healthcare Executives でバハマ初
の特別研究員になりました。院長と
して 37 年間務めた Doctors Hospital
Health System を退職し、現在は顧
問を務めています。全米病院協会の
生涯会員で、Quality Council of the
Bahamas などの理事・委員長も務め
ました。

1980 年ロータリーに入会。R I 理
事を経て、現在はロータリー財団管理
委員会の副管理委員長を務めていま
す。また、R I 研修リーダーと 2015
- 16 年度 R I 会長のエイドも経験し
ました。

ロータリー最高の賞である R I 超我
の奉仕賞のほか、2010 年ハイチ地震
後のロータリーによる災害救援活動を
統率したことにより、多くの人道賞を
受賞しています。また、エスター夫人
とともに、ロータリー財団のメジャー
ドナー、遺贈友の会会員でもあります。

2017 - 18 年度

ロータリー財団国内委員

2017 - 18 年度ロータリー財団地

域コーディネーター第 2 ゾーンに、
舟木いさ子氏（東京白金 R C）が決定。

トロントでの国際大会では博物館へ



トロントといって思い浮かべるの
は、たいてい、雪、ホッケー、それに
最近ではおいしい料理。ですが、ト
ロントには世界一流の博物館もあり
ます。今年度は 6 月 23 - 27 日に
2018 年ロータリー国際大会がトロ
ントで開催されますが、この時博物館を
何カ所も回る時間がないという方
には、ロイヤルオンタリオ博物館かオ
ンタリオ美術館がおすすめです。

ロイヤルオンタリオ博物館には世界
中の芸術、文化、自然が時代を超え
て収集され、600 万点を超える標本、
オブジェ、工芸品を所蔵しています。
10 年前には、水晶の形をした 5 つの
角柱形の構造物を組み合わせたような
新館が増設されました。

その近くにあるオンタリオ美術館に
は、9 万点を超える芸術作品が所蔵さ

ロータリアンの皆さまへのお礼 — 寄付ゼロクラブがゼロに—

ロータリー財団 100 周年を迎えた 2016 - 17 年度、
年次基金寄付目標を一人 150 ドルとし、第 1、2、3 ゾ
ン内の全クラブが年次基金寄付に参加することを目指
し、皆さまにご協力をお願いしてまいりました。

その結果、第 1、2、3 ゾーン内の寄付ゼロクラブは、
ゼロとなり、一人当たりの平均寄付額も目標の 150 ド
ルを超えました。皆さまの熱意に心から感謝申し上げま
す。

今後、ロータリーは変わります。互助的な性格の強い
組織から地域、そして国際的で人道的な奉仕活動にも力
を入れ、質的転換を遂げようとしています。

ロータリー財団においても、特に持続可能なグローバ
ル補助金プロジェクトを通じて、ロータリーの 6 つの
重点分野を支える国際的、かつ人道的な奉仕活動が力強

く展開されていくことでしょう。

この質的な変化を力強く支えるために、引き続き、皆
さま方からのご支援をお願い申し上げます。

2016 - 17 年度の目標達成へのご協力に、心から感
謝申し上げますとともに、今年度も一人当たり年次基金寄
付額 150 ドルと寄付ゼロクラブゼロの達成をお願いし
たいと思います。

皆さまのご支援により、ロータリーの奉仕活動がより
深化、発展することでしょう。

2016 - 17 年度ロータリー財団地域コーディネーター
池田 徳博
竹腰 兼壽
村上 有司

れています。膨大な数のカナダ人芸術家による作品、ルネサンス時代、バロック時代の作品や、ヨーロッパ、アフリカ、オセアニアなど、現代の芸術作品を所有しています。4万点の写真コレクションや、ヘンリー・ムーア（有名なイギリス人彫刻家）のコレクションも、公共のものとしては世界最大規模であり、目玉となっています。

ロイヤルオンタリオ博物館の通りを隔てた向かい側には、カナダの国立陶磁器美術館、ガーディナーがあり、ここでは当日参加できる陶芸教室も開催しています。バータ靴博物館も人気の観光スポットです。4,500年間の履物

の歴史を物語る、何千点もの靴や関連した工芸品が所蔵されています。

-ランディ・ドラジン

2018年トロント国際大会への登録は、www.riconvention.org から。

今後のR I 国際大会（予定）

2018年6月23～27日

カナダ・オンタリオ州トロント

2019年6月1～5日

ドイツ・ハンブルク

統計

全世界ロータリアン総数

1,236,554人

クラブ数 35,533 クラブ

地区数 539 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 235,497人

クラブ数 10,239 クラブ

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 499,123人

クラブ数 21,701 クラブ

国と地域 150 以上

2017年5月31日現在

* 2017 - 18年度

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp

RI 指定記事

ロータリー財団管理委員長の思い

ロータリアンの平和構築者としての役割を拡大

2017-18年度ロータリー財団管理委員長 ポール A. ネットゼル



平和について語るとき、私たちは平和の意味をどう捉えているのでしょうか。

1921年に、ロータリーの第4の目的「奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること」が定められました。

今日ロータリーでは、平和を抽象的な概念ではなく、人道的使命の中核となる、活力にあふれて躍動的な人類の発展の表れとして捉えています。

私たちの平和構築活動の大半は、3つの重要な活動を実行するロータリアンの能力にかかっています。その3つの活動とは、変革を起こすパートナーシップの結成、何百万ものロータリープロジェクトを支える資金の調達、ロータリー平和フェローの推薦とその活動の支援です。

今年、ロータリー財団は Institute for Economics and Peace（経済平

和研究所）と戦略的パートナーシップを提携しました。経済平和研究所は、平和な社会を創造し維持するための考え、制度、社会構造を特定し測定する国際シンクタンクです。

この提携を通じて、ロータリーはロータリアンおよびロータリー平和フェローのためのEラーニングポータルを研究所と協同で開設します。専門知識をさらに増やしたり、新しい方法を試したり、紛争の根本原因となっている問題の解決のために地域社会を動かす、といった内容が学べます。その目標は、地域社会を主体とした、現実的で大きな影響をもたらす平和・紛争解決のためのプロジェクトの促進です。

また、ロータリーは平和フェローの教育と支援などにさらなる寄付を呼びかける一方で、新たなパートナーシップのための資金を調達するためにロータリー平和センター大口寄付推進計画を立ち上げました。

イアン H. S. ライズリー R I 会長による会長主催平和会議（2～6月に全世界で6回開催、『友』9月号横組み P54 参照）では、ロータリーの重点分野である平和、そして環境にとっ

て持続可能性のある関係性を模索します。外交官でなくても平和をもたらせることはロータリーの歴史が証明しています。

卒業に苦勞している学生のメンター（助言者）を務めれば、あなたは平和構築者です。

地域社会の経済発展を支援するプロジェクトを立ち上げれば、あなたは持続可能な平和と紛争解決のための環境をつくっていることになります。

ロータリー平和フェローを支援し、協働すれば、あなたは平和を促進することになります。

今日では紛争が複雑化し、地域社会を主体とした、より創造的なイニシアチブが必要とされています。一緒に、大きな変化をもたらしましょう。

Paul A. Netzel

Paul A. Netzel
財団管理委員長

“平和”をどう定義しますか？
Paul.Netzel@rotary.org まで
ご意見をお寄せください。



新インターアクトクラブ

Father Duenas Memorial School

(2750・Northern Guam/Pago Bay Guam)

結成：2017年1月1日

事務所：119 Duenas Lane Chalan Pago, Guam 96910

Father Duenas Memorial School

篠山東雲高等学校

(2680・兵庫県・篠山)

結成：2017年4月1日 会員数：23人

事務所：〒669-2513 篠山市福住1260

兵庫県立篠山東雲高等学校内

会長：大見春樹 幹事：太野垣勝弘

メルセダリアン (2710・山口県・萩)

結成：2017年7月1日 会員数：60人

事務所：〒758-0047 萩市東田町15

萩光塩学院高等学校内

会長：岩本宥子 幹事：篠原七海

インターアクトクラブ名称変更

神戸学院大学附属高等学校→神戸学院
大学附属中学・高等学校 (2680・兵庫県)

2017年8月25日変更

新ローターアクトクラブ

土浦 (2820・茨城県・土浦)

再加盟：2017年7月28日 会員数：6人

事務所：〒300-0043 土浦市中央
2-16-9 常陽銀行土浦支店内4階

会長：矢口悟司 幹事：濱脇賢一

ローターアクトクラブ名称変更

神戸女子大学→神戸須磨

(2680・兵庫県)

2017年7月14日変更

◆ご案内 出版物のご注文、振込関係、
事務所住所・『友』誌送付先の変更な
どは keiri@rotary-no-tomo.jp へ、『友』
誌の内容、投稿に関するお問い合わせ
などは編集部メール hensyu@rotary-
no-tomo.jp へ、お願いいたします。

地区別クラブ数・会員数一覧表

(2017年7月末現在)

地区	R C 数	会員数	16年7月末 会員数
第2500地区	67	2,305	2,305
第2510地区	69	2,613	2,570
第2520地区	79	2,283	2,293
第2530地区	66	2,402	2,408
第2540地区	42	1,130	1,138
第2550地区	51	1,737	1,725
第2560地区	56	2,116	2,124
第2570地区	51	1,650	1,643
第2770地区	73	2,576	2,595
第2790地区	83	2,821	2,779
第2800地区	50	1,617	1,641
第2820地区	55	1,978	1,962
第2830地区	41	1,179	1,193
第2840地区	46	2,095	2,083
第2580地区	69	3,076	3,045
第2590地区	57	2,060	2,068
第2600地区	55	1,964	1,991
第2610地区	64	2,668	2,649
第2620地区	79	3,049	3,013
第2630地区	76	3,155	3,114
第2750地区	99	4,791	4,862
第2760地区	84	4,866	4,815
第2780地区	66	2,359	2,325
第2640地区	69	1,900	1,910
第2650地区	97	4,628	4,634
第2660地区	82	3,630	3,617
第2670地区	74	3,025	2,988
第2680地区	73	2,820	2,847
第2690地区	66	3,061	3,084
第2700地区	61	3,184	3,158
第2710地区	73	3,291	3,322
第2720地区	75	2,431	2,383
第2730地区	65	2,383	2,368
第2740地区	57	2,252	2,227
34地区合計	2,270	89,095	88,879

日本のロータリー

会員概数 88,813人

クラブ数 2,261

(左の表中34地区合計から、第
2750地区のP Bグループを引い
た数です)

ガバナー月信より 2750クラブ

数・会員数は、P Bグループ9
R C 282人(北マリアナ諸島・
グアム・ミクロネシア・パラオ)
を含みます。P 6「日本のロータ
リー」数は34地区合計からP B
グループを引いた数。16年7
月末P Bグループ9 R C 会員数
290人。

修正 会員数修正：本誌9月
号横組みP 52(6月末)表中、
2580・3,018人、2750・4,754人、
2740・2,228人、34地区合計会
員数：87,935人、表外とP 6「日
本のロータリー」最終行会員数：
87,645人。クラブ数修正：本誌
9月号横組みP 52(6月末)表中、
2820・55、2610・64、2750・
99、34地区合計クラブ数：2,270、
表外とP 6「日本のロータリー」
最終行クラブ数：2,261。

※『友』ホームページの「ロータ
リー資料館」にデータ修正後の表
を掲載。

※第2520地区の数値は震災につ
き概数。

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-

ロータリーの友

11月号主要記事予定

横組み 特集 インターアクト ロータリークラブとの連携

私たちのゴール：ポリオのない世界

縦組み 国際ロータリー財団奨学生・その後

宮崎大学学長 池ノ上 克

クラブを訪ねて 古河東 R C

Rotary



ご投稿・お問い合わせは——

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

一般社団法人ロータリーの友事務所 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp 経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp

『友』に投稿しませんか

——『ロータリーの友』投稿規定——



私の一冊 7月号から ★

会員おすすめの本（入手可能な市販書籍）を紹介。書籍名、作者名、出版社、発行年と推薦文（320字以内）。

声 10月号から ★★

友誌についての感想・意見を200字以内で紹介。対象記事名を明記（2017年7月号から）。発行月翌月の10日が締め切り。

友愛の広場 ★★

エッセーや、海外ロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付。

わがまちの味 ★★

わが町自慢の郷土料理、個人的な思い出の味などを紹介。食べ方、由来など100字以内の説明文に料理そのものの写真をお送りください。

ロータリー俳壇・歌壇・柳壇

1か月に1人はがき1枚に3句（首）まで。作品の横にクラブ名・お名前・電話番号を記入。選者の方のご都合もあり、メール投稿はお受けできません。

ロータリー・アット・ワーク写真編 ★★

ロータリークラブ、地区、インターアクト・ロータリーアクトクラブなどの奉仕活動を写真で紹介。写真と150字程度の説明文。必ず活動日を入れてください。活動後1か月以内にご投稿ください。字数を超える場合は編集させていただきます。

★…『友』ウェブサイトから記入用紙をダウンロード可 ★★…『友』ウェブサイトの投稿フォームから投稿可

原稿について

- ・ Eメールの場合、件名欄に所属クラブ名を、メール本文には原稿についての窓口となる連絡先（電話番号）を必ず明記し、原稿と写真データを個別に添付送信を。
- ・ 郵送の場合、パソコン作成原稿はCD-Rなどに入れてお送りください。手書き原稿は原稿用紙に。

写真について

- ・ 記念撮影（集合写真）は原則、掲載しません。
- ・ Eメールの場合、JPEGデータ1枚200KB以上の容量で、原稿に貼りつけず送信してください。
- ・ 郵送の場合、デジタルカメラで撮影した写真は、プリントしたものと一緒に必ずデータ（原則JPEG／容量200KB以上）をCD-Rなどに入れ、お送りください。
- ・ フィルムカメラで撮影した写真は、プリントを郵送ください。

ロータリー・アット・ワーク文章編 ★★

ロータリークラブ、地区、インターアクト・ロータリーアクトクラブなどの奉仕活動を文章中心に紹介。活動後1か月以内にご投稿ください。600字以内。関連写真があれば添付を。

パズル de ロータリー

3種類のパズル（クロスワード、数独、スケルトン）を毎月順番に掲載。プレゼント応募の締め切りは発行月翌月の10日。

情報もお待ちしております！

New Generation 7月号から ★

ロータリーのプログラムに参加経験のある10～30代までの若い人（現役・学友）を紹介。推薦対象者（インターアクター、ロータリーアクター、青少年交換学生、財団奨学生、米山奨学生、ライラリアンなど）について編集部へご一報を。編集部から直接、当人へ原稿を依頼。

『クラブ週報』『クラブ会報』

クラブの『週報』『会報』をご送付ください。「卓話の泉」に掲載するほか、クラブの活動の参考として使わせていただきます。メール配信のクラブは、メーリングリストに『友』編集部 hensyu@rotary-no-tomo.jp を加えてください。

- ・ 要返却写真は、その旨を送付時にお書き添えを。
- ・ 掲載・採否は、（一社）ロータリーの友事務所理事会ならびにロータリーの友編集部に、ご一任ください。

投稿方法、その他規定は『友』ウェブサイトで！

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



送
り
先

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15

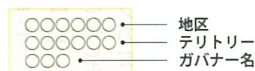
黒龍芝公園ビル 4階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

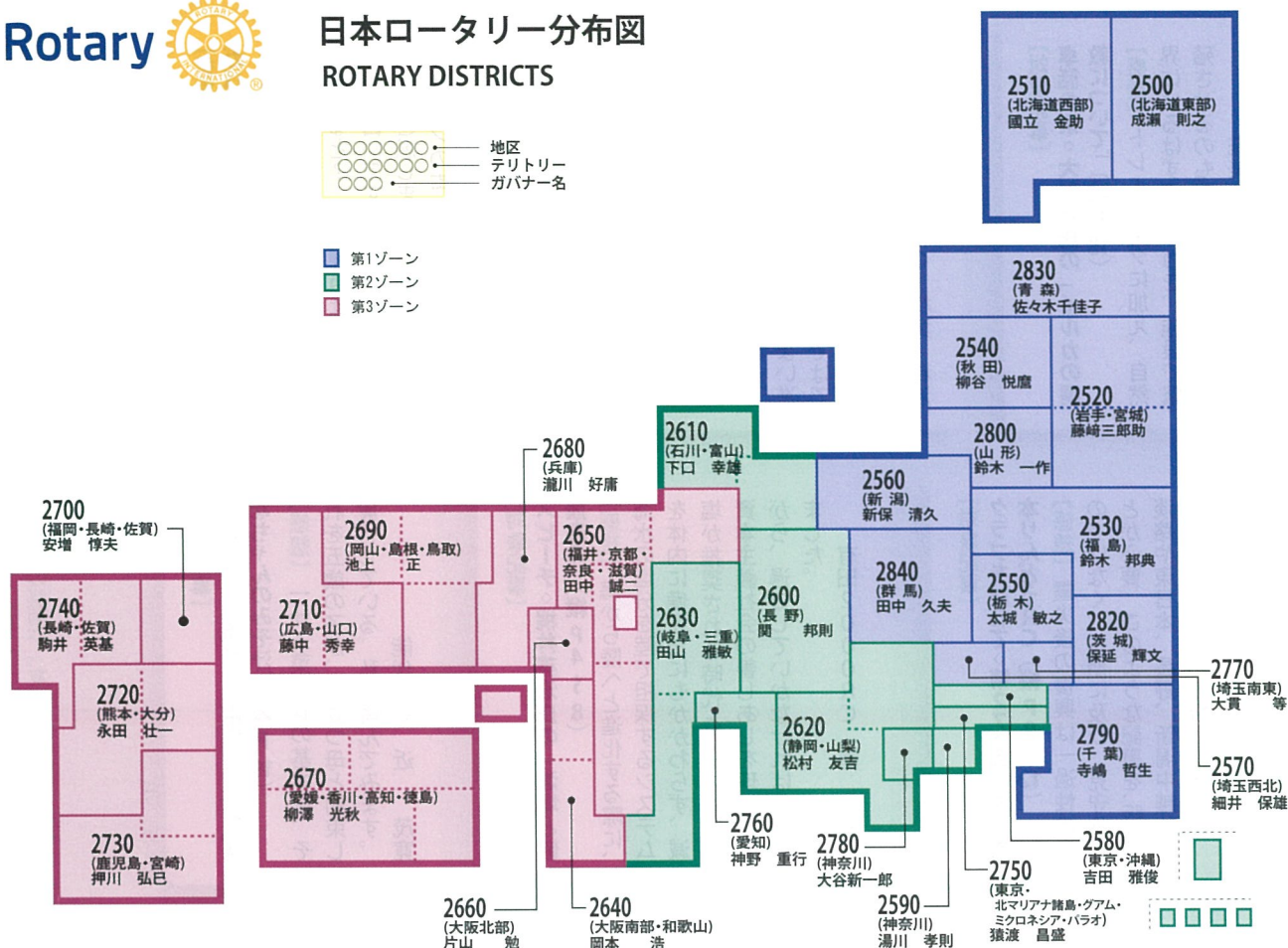
Eメール hensyu@rotary-no-tomo.jp

『ロータリーの友』ウェブサイト投稿フォーム

www.rotary-no-tomo.jp/form.php



第1ゾーン
第2ゾーン
第3ゾーン



『ロータリーの友』ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第65巻 10月号

2017年9月30日印刷 2017年10月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

■ 社員 斎藤 直美 (豊田)
石黒 慶一 (鶴岡西)
吉田 雅俊 (東京新都心)
猿渡 昌盛 (東京武蔵府中)
湯川 孝則 (横浜西)
片山 勉 (大阪東)

■ 理事会

代表理事 清水 良夫 (横浜)
理事 片山 主水 (名古屋東南)
神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
橋本 長平 (京都東)
田中 政春 (長岡西)
岡部 一輝 (南砺)
庄司 尚史 (境港)
松坂 順一 (東京葛飾東)
服部 陽子 (東京広尾)
横山 武志 (東京北)
中里 公造 (川口モーニング)
堀口 昇治 (東京西)
野中 茂 (川崎)
津村 政男 (東京臨海東)
渡辺 誠二 (東京みなと)

監事 船越 豊 (千葉中央)
小川 湧三 (川崎鷺沼)
相談役 板橋 敏雄 (足利東)

■ 職員

所長 渡辺 誠二 (東京みなと)
編集長 野崎 恭子
編集 稲川 やよい
黒野 穰二
山名 愛
飯田亜由香
経理 富澤 美子
半田 弥生
福元菜穂子

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591
印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所
〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp
経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp
ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp
定価 200 円 + 消費税 (送料別)

声

7月号の感想

『友』を読んで、「この原稿を書いた人にエールを送りたい!」「感動した」「知らなかった」などの感想、『友』そのものに關するご意見などを紹介します。

【対象記事】

ガバナーの横顔(横P 20~37)

【感想】新しい年度も34地区のガバナーが勢ぞろいです。「自分を動物に例えると? その理由は?」の質問が面白いです。犬とライオンが多かったと感じます。地域社会やロータリアンの声に耳を傾けること、リーダーシップを発揮されることを期待しています。

吉川 RC 藤田 亘弘

【対象記事】

ガバナーの横顔(横P 20~37)

【感想】ガバナーの重責の中、ホッと一息つける時間を見つけるからこそ、仕事やロータリー活動にまい進できるのだろう。何事も一人ではできない。周囲の皆さんの協力を得ながらやっていけるのだと痛感した。

福山北 RC 松葉 和治

【対象記事】

卓話の泉・大下勲氏の「イルカの調教について」(縦P 18)

【感想】トレーニングに加え、自然界にいたるイルカを、施設で繁殖させるのもすごいと思いました。

奄美中央 RC 倉井 則裕

【対象記事】

私の一冊・丸亀 RC・横田龍男氏の「はなちゃんのみそ汁」(縦P 19)

【感想】一汁三菜は食の基本形。それを五歳の子が、旅立つ母と約束し実行している。私も読んでみます。

能代 RC 近 茂寛

【対象記事】

スピーチ・梶井英治氏の「減塩と健康寿命」(縦P 4~8)

【感想】海から陸へと進化する際に、海水の塩分を陸で担保するシステムを体内に備えたにもかかわらず、減塩が推奨される時代となりました。資本主義社会の善しあしを理解しながら、過ごしていかなければと感じました。

有田 2000 RC 南 良暢

【対象記事】

クラブを訪ねて・第2720地区・熊本りんどう RC (縦P 9~12)

【感想】震災後の復興は一過性のもではなく、長期に及び、見守ることが必要。このような記事を、阪神・淡路や東日本、長野、新潟中越などの今、といった形で続けてほしい。

彦根南 RC 諸川 穰

【対象記事】

スピーチ・梶井英治氏の「減塩と健康寿命」(縦P 4~8)

【感想】注意が必要なのは、ナトリウム。その数値を二・五倍すれば食塩相当量が出る。料理酒は使わず、お酒そのものを使う。目からうろこでした。薄味を自負していましたが、修業が足りない実感。「少ない塩分だからこそおいしい」に向け、努力する所存です。

中頓別 RC 田邊 彰宏

【対象記事】

友愛の広場・水戸 RC・牧厚志氏の「わが故郷は魅力度最下位県」(縦P 16)

【感想】興味津々の題字が目に残まり読み始めたら、茨城県は魅力度4年連続最下位。だが、県民は樂觀的。そこにはギャップを埋める素晴らしい自然の恵みがある。「魅力度が何位であろうと、生まれ故郷を愛する気持ちに変わりはない」と声を大にしていきたいのです。その通りです。私の住む福島県は原発事故の風評被害で、今も観光が完全には回復していません。大声出して、一緒に叫んでみたい気持ちです。

猪苗代 RC 矢澤 幸志

【対象記事】

ニュージェネレーション・田畝佳也乃氏の「私の夢」(横P 45)

【感想】中学三年で知った児童福祉司という仕事に向かって、努力を続けている。同じ年頃の子を持つ親として、共感しました。若者の努力する姿に励まされます。

伊勢崎東 RC 蜂矢 可弥

【対象記事】

友愛の広場・桑名西 RC・鶴田正道氏の「ROTARY」の歌詞について訂正」(縦P 15~16)

【感想】ロータリーのことを理解する手助けとなった。議論は大いに結構と感じた。

鈴鹿ベイ RC 谷田 義弘

【対象記事】

友愛の広場・鎌倉中央 RC・都筑健一氏の「台湾へ歴史探訪の旅」、堺おおいずみ RC・堂之本雄治氏の「台湾・台南で八田與一像破壊」(縦P 16~17)

【感想】今年四月に八田與一像が破壊されたことは、誠に残念です。私も一度、修復後の八田像を見に、訪問したいと思っています。

横浜鶴見北 RC 今井新一郎

●本文 2000 字以内 本文とは別に、対象記事名(例: 9月号「友愛の広場」、○○さんの記事)とお名前、クラブ名、連絡先(Eメール、電話番号)を付記しお送りください。

登壇。それぞれの立場から見た現状とこれからについて話が進められました。感動だけでなく、考えさせられる会となりました。

この講演会がわれわれロータリアンにとって、自分の職業の中で社会に対し何ができるのかを考えるきっかけになれば良いと考えます。

(阿部健三・記)

スリー・バイ・スリー バスケットボール相生大会

相生ロータリークラブ

第二六八〇地区・兵庫県

相生市最大のイベント・相生ペーロン祭開催中の五月二八日、地域の世代間の絆の形成とスポーツ活動の普及、それらに対する市民の関心を喚起することを目的に、当クラブ主催で三人制のバスケットボール競技「スリー・バイ・スリーバスケットボール相生大会」を開催。小中学生、高校生、一般のチームが参加しました。また、ペーロン祭に訪れた多くの人たちも観戦し、大変盛り上がりしました。

同時企画のロータリーデーはRYLA経験者の発表を受け、参加者に「こんな街に住みたい」「がんばりたいこと」「かけてほしい言葉」を書いてもら



快晴の下で盛り上がった大会

らい、付箋紙で掲示。そして青少年奉仕関連のDVDを上映し、ロータリーとその活動の一部を大勢の人に知ってもらいました。

歩行者天国となった道路では、一般の人たちを対象にフリースロー大会を企画。ポリオ撲滅の募金活動も行い、二万五九五円の募金が集まりました。募金活動の際、「ポリオ」の意味を知らない人が意外と多かったのには驚きました。

今回は奉仕活動において、ロータリアンには思いつかないような斬新なアイデアを、RYLA経験者から提案してもらい、青少年奉仕委員会のメンバーと一緒に企画、活動できたことは大変有意義だったと感じました。

(栗尾重徳・記)

職業奉仕の進化を目指す クラブのチャレンジ

宮崎東ロータリークラブ

第二七三〇地区・宮崎県

クラブ創立二〇周年の記念事業の一つとして、会員企業からロータリー精神の発露といえるような社員を推薦してもらい、六月一〇日の記念式典で、計六人に「職業奉仕賞」を贈りました。表彰時の言葉は次の通りです。

「あなたの職場での勤務行動と実績は、ロータリークラブの目的である職業奉仕の観点から見て、実に模範的なものであるとの推薦をクラブメンバーからいただき審査しましたところ、当クラブの二〇周年記念事業表彰に値するものと認定させていただきました。ロータリークラブの『四つのテスト(真実かどうか、みんなに公平か、好意と友情を深めるか、みんなのためになるかどうか)』の実践体現者として、引き続き、職業奉仕に努められてください。当クラブ創立二〇周年記念日にあたり、ここに記念品を贈呈し表彰します」

式典には地区内のクラブからも多くの参加があり、和やかで温かい雰囲気でした。今回は、①社会からの信頼を



会員企業の社員6人に職業奉仕賞を授与

Annotation

ポリオ (polio)

急性灰白髄炎、いわゆる小児まひと呼ばれる感染症です。ポリオウイルスを病原体として、主に口から入り、消化器から感染します。乳幼児がかかりやすく、発症すると、手足にまひが現れます。まひの進行を止める、または回復させるための治療法は現在も確立されていません。

(中村健一郎・記)

本県では住宅の自主再建を目指す被災者を対象に「くまもと型復興住宅」を提案しています。これは県産材を利用することで、地元経済の活性化を狙ったもの。今後新築を予定している被災者たちに、地元産の畳表による快適な居住空間を実感してもらいたいと思い、寄贈しました。

なお、贈呈式の模様は地元テレビ局や新聞でも報道され、ロータリーの活動の一端を紹介できました。

公共イメージ向上の一環で チャリティー公演開催

大宮中央ロータリークラブ

第二七〇地区・埼玉県

当クラブの会員を中心に構成されたバンド「ロータリーベンチャーズ」が、



仮設団地で倉庫などの寄贈目録を手渡し



歌って踊って、盛り上がったコンサート

七月一六日、チャリティーコンサートを開催しました。

この催しは、二五年前から夏と冬の年二回、ロータリーベンチャーズがチャリティーで開いているコンサートで、参加費の一部を（社福）さいたま市社会福祉協議会に寄贈してきました。三年ほど前から、ロータリーの公共イメージ向上の一環として、ポリオプラス基金に寄付する企画に変更しました。

当日は受付に募金箱を設け、当地区のロータリー財団部門委員会から日坂敦夫ポリオプラス委員長を中心に募金への協力を呼びかけました。贈呈式では松村繁同財団部門委員長が登壇し、ロータリークラブがどんな団体なのか、ロータリーが撲滅に向けて取り組む世界のポリオの現状など、一般の人

にも分かりやすく説明しました。

今回は約三四〇人の参加を得ましたが、約七〇割が一般の人たち、残りがロータリアンといった割合でした。オールディーズの音楽を聞き、飲食をしながら、踊って、真夏の熱い夜を楽しみました。

アンコール曲は「ドウ・ユー・ワナ・ダンス」。来場者全員が輪になって踊る演出で、「大変楽しかった」という声も聞かれ、大好評で終了しました。

（星野時夫・記）

健康と奉仕をテーマに 講演会

宇都宮陽東ロータリークラブ

第二五〇地区・栃木県

当クラブは今年度、創立二五周年を迎えるにあたり、「健康と奉仕」をテーマに記念事業を企画。ロータリーは異業種の会員、倫理観を持った会員で構成されていることを踏まえ、どんな活動ができるかを話し合ったところ、職業奉仕に重点を置いて進めることになりました。

六月一五日に第一回として、当クラブ会員のほか、他クラブの会員、一般も含め約一三〇人の参加を得て記念講演会を開催。第一部では、オランダの安楽死を日本に伝える第一人者、シャ



第1回は安楽死をテーマに講演会などを開催

ボットあかね氏をオランダから招き、「オランダにおける安楽死」と題した基調講演を行いました。

安楽死が合法化されているオランダでは、本人と家族、医療関係者、行政が関わり、幾度も対話を重ねて納得した上でのことなので、安楽死はとても穏やかでポジティブなことなのだそうです。また、自分が選んだ時に死ねるという保障があると、生きる勇気が生まれるとも語っていました。

第二部では各分野の専門家により、「安楽死を考える」私はどんな最期を迎えたいのかをテーマに討論会を行いました。司会は医師の植松繁人会員が担当し、病院院長の比企達男会員、一〇年前に夫人を乳がんで亡くされた岡孝夫会員、弁護士鈴木洋平会員、外部から看護師の瀬瀬由美子氏が



台中西北RCの記念式典に参加し、交流

立四五周年記念式典が華やかに開催され、祝福しようと日本から川口東RCや福岡南RC、タイやフィリピンからもロータリアンが参加、会場には約五〇〇人が詰め掛けました。

台中西北RCは訪れるたびに会員の若返りを肌で感じます。洪士超会長(当時)は五四歳。エネルギーで、今回の式典でも洪会長率いる軽音楽の楽団でサクスを担当し、会場を盛り上げていました。

ロータリーのバッジを着けているだけでいきなりの握手。初対面の相手との会話も情報交換から、いつしかプライベートな会話に及びますが、こんな状況もロータリーでは当たり前。言葉は違えど、国を超え、習慣を超え、ヒューマニスティックに行動できると。まさにワンダフルとしか言いよう

がありません。

二〇二〇年は当クラブ創立五〇周年となり、今度はわれわれが迎え入れる番です。五〇周年にふさわしい「お・も・て・な・し」で、感動を手土産にできるような準備をしなければ！

東ちづるさんを迎え 希望の風チャリティー講演

本庄ロータリークラブ

第二五七〇地区・埼玉県

クラブでは六月一日、本庄市民文化会館で、女優の東ちづるさんを講師に迎え、「ロータリー希望の風チャリティー講演会」を開催。本庄南RCと児玉RC、本庄ライオンズクラブ、本庄市と同市教育委員会などの後援を得、当日は約五五〇人が来場した。

最初にロータリーを紹介する映像、さらに東日本大震災の遺児を支援するロータリー希望の風奨学金についての映像を流して理解を求めた。

続いて「心豊かに自分らしく生きる つながる よりそう」と題し、東さんが登壇。東日本大震災での被災者の話として、家が全壊しても避難所に入れなかった人が多く、有事の際はみんなで力を合わせることが大切。すでに震災から六年以上がたち、記憶は少しずつ薄れているが、被災者は今も大



会場出口で募金を呼びかける会員たち

変な思いで生活しており、復旧・復興を応援しようと語りかけた。

東さんは骨髄バンクへの支援を続けている。また、戦争で傷ついた子どもたちのための施設・ドイツ国際平和村の支援も続けており、その実例を紹介した。

さらに自閉症ほか、さまざまなマイノリティへの理解を求めて二〇二一年一〇月に設立し、自らが代表を務める(一社)Get in touchについて触れ、誰も排除しない、誰もが自分らしく生きられる「まぜこぜの社会」を目指して活動していること、心豊かに自分らしく生きること、心を豊かに自分らしく生きることが大切。最後はいろいろな人が生きる、いろいろな場面を映像で流し、約一時間一〇分の講演を終了。会場からは大きな拍手が送られた。

閉会后、会場出口で募金を行ったところ、多くの人から快く浄財が寄せられた。その善意の計一八万二〇九九円は、ロータリー希望の風奨学金として活用される。

熊本地震の仮設団地へ 畳と倉庫を寄贈

八代東ロータリークラブ

第二七二〇地区・熊本県

六月二十九日、全国のロータリアンから寄せられた熊本地震の義援金をもとに、当クラブと熊本りんどうRCで畳と倉庫を購入し、熊本県益城町の安永仮設団地に寄贈しました。

益城町は熊本地震で甚大な被害を受け、仮設住宅で生活する人たちが多い町です。一年以上経過した今でも地震の爪痕が至る所に残っています。

当日は多くの住民だけでなく、当地区の永田壮一ガバナーエレクト(当時)、西村博則益城町長の出席も得て、贈呈式を執り行うことができました。

仮設住宅では各地から届く支援物資の収納場所がなく、集会所に積み重ねてある状況でした。倉庫の贈呈により、物資の収納ができると大変喜んでいました。

畳は当クラブの所在地域、八代市の名産品であるイ草を加工したもの。熊

ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブと地区の活動を紹介、600字以内。字数を超える場合など、編集させていただきます。関連写真があれば添付してください。

タイの子どもたちにランドセルを寄贈

渥美ロータリークラブ
第二七六〇地区・愛知県

渥美ロータリークラブ（RC）では三年前から、会員の浄財を基に、タイ・ピット県にあるバンムラックウィッタヤコン小学校に奨学金を贈っています。

昨年、ある会員が小学校を訪問した際、児童が大きな布製の手提げかばんを持って通学している姿を見て「ふびんに思った」と帰国後に話したところ、ある会員夫人から「日本のランドセルは六年間使用してもきれいな状態なので『もったいない』精神を生かしてプレゼントしたら」と提案されました。その後、田原市教育委員会の協力を得て、百数個のランドセルの提供が

ない、四月下旬に名古屋港から現地に送り出すことができました。ランドセルは五月中旬に小学校に到着。現地で直接手渡したいという思いから、会員八人が同月二五日にタイに向けて出発しました。

小学校では児童たちが、当日のために練習を重ねた楽器演奏と民族舞踊を披露し、感謝の気持ちを表してくれました。ランドセルを手渡した時の子どもたちの笑顔は、私たちが忘れてしまった大切なものを思い出させてくれました。

準備は大変でしたが、今回の活動を通じて、ロータリーの素晴らしさに心を震わせる体験ができました。この活動に協力してくれた日本の子どもたちや企業に感謝するばかりです。



子どもたちにランドセルを渡す会員たち

クラブでは今後も、子どもたちの素晴らしい笑顔が見られるような活動を続けていけたら、と考えています。

ラオスとカンボジアの小児病院を支援

東京多摩グリーンロータリークラブ
第二七五〇地区・東京都

わがクラブでは、ラオスとカンボジアを中心にアジアで恵まれない子どもたちへの医療支援を行っているNPO法人フレンズ・ウィズアウト・ア・ボーダー JAPANへの支援を続けています。

一九九九年、カンボジアにアンコール小児病院を開院。その後、「カンボジア人による、カンボジア人のための病院」として自立した運営を目指し、二〇一三年に現地スタッフによる運営を開始しました。

また、二〇一五年にはラオスに「フレンズ小児病院を開院。そうした活動の中心（代表者）となり、現地で超人的な活躍をしている看護師・赤尾和美さんを、わがクラブの「ロタフェロー」（有意義な社会的活動を続けている個人・団体をクラブが承認・支援）として応援を続けています。

今年六月七日にはラオ・フレンズ小



クラブで応援する赤尾氏（写真左）は現地で大活躍

児病院に注射器（計四〇八〇本）をまとめて送り、大変喜ばれました。子どもたちのすてきな笑顔は、私たちの笑顔でもあるのです。

（大松誠二・記）

台中西北RCとの四五年の深いつながり

堺東南ロータリークラブ
第二六四〇地区・大阪府

当クラブが創立した一九七〇年といえば、大阪府吹田市の千里丘陵で華々しく大阪万博が開催された年。その二年後、台湾の台中西北RCと姉妹クラブを締結し、その後、四五年の長い月日が経過しました。

今年の六月八日、台中西北RCの創

ROTARY AT WORK



**会員、家族、愛犬と
月出山岳に登る** 〈日田RC〉
会員、家族20人と愛犬1匹が、2013年「日本全国難読山名サミット」で3番目に難読と認定された月出山岳に登った。地元住民でも読みづらいこの山は「かんとうだけ」と読む。2016・17年度2度目の登山で、天候にも恵まれ、全員が1時間の山道を登頂。山頂で昼食を食べた後、無事下山した。
(5月14日 第2720地区 大分県)

ROTARY AT WORK



**桜植樹から広がる地域
振興と環境美化** 〈有田RC〉
西有田県立自然公園を見下ろす「有田みかん海道」。地域の観光資源になるようにと、20年ほど前から海道に沿って約100本の桜を植樹し毎年手入れをしてきた。近年は周辺の雑草や側溝の土砂、ごみの除去作業も加わり、有田市職員や高校生、元ロータリーアクターなど多くの市民が関わる奉仕活動となった。海道は今では市の観光名所となり、多くの人が訪れている。
(5月7日 第2640地区 和歌山県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK



中学校で心肺蘇生法実技講習会 〈射水RC〉
射水市立小杉南中学校で、心肺蘇生法実技講習会を開催。心肺蘇生法の大切さを理解し、傷病者の意識がない場合の対処の仕方について学んでもらおうと行ったもので、医師、看護師、消防署の署員とともに講義・実習を行った。
(7月6日 第2610地区 富山県)



献血移動例会 〈川崎高津RC〉
1985年の創立以来取り組む献血活動を今年も実施。朝から雨が降る中、午前9時に溝の口駅北口に会員15人が集合し、テーブルや椅子、看板の設置、土産の袋詰めなど準備を行い、10時から午後4時まで献血を呼びかけた。会員家族や会社関係者からも協力を得て、受付人数64人中献血数51と、例年と同数の血液を集めることができた。
(5月13日 第2590地区 神奈川県)

ROTARY AT WORK

ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文、字数を超える場合は編集させていただきます。必ず活動日を入れてください。記念写真(集合写真)は掲載できません。

ROTARY AT WORK



高校生のための面接実践講座 〈鹿沼RC〉
 栃木県立鹿沼商工高校の3年生195人を対象に「高校生のための面接実践講座」を開催。地元ラジオ局「RADIO BEERY」パーソナリティーの菊池元男氏、須賀由美子氏に実践的な話し方や心構えを聞いた後、会員企業である(株)ナカニシの人事課長・世田学氏に入室から面接、退室までの指導を受けた。
 (6月21日 第2550地区 栃木県)

ROTARY AT WORK



チャリティーダンスパーティー 〈真庭RC〉
 真庭RCと真庭ライオンズクラブの共催でチャリティーダンスパーティーを開催。美しい装いの老若男女約100人が、バンドの生演奏の中、世界でも珍しいロータリーとライオンズの協力による社交ダンスを楽しんだ。開催は今回で9回目。収益金は障害者施設「コスモスの園」に寄付している。
 (6月17日 第2690地区 岡山県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

共に迎えた30周年 〈東京蒲田RC〉
 台湾の姉妹クラブ・台北城中RCは同じ1987年の創立。今年は共に創立30周年を迎え、2月の東京蒲田RCの周年式典に続き、台北城中RCの式典に21人が参加。黄其光元RC会長ほか多くの台湾の会員、日本からも行田RC、岐阜サンリバーRCの会員も参加し盛大な式典となった。台北城中RC会員の案内で台南の名所観光や地元の料理も楽しみ、姉妹提携時の思い出話などで盛り上がった。
 (5月24〜27日 第2750地区 東京都)



ROTARY AT WORK

中学校の湖沼清掃活動を支援 〈安城RC〉
 安城市と碧南市の境にある油ヶ淵は愛知県唯一の天然湖沼。生活用水による水質の悪化、ごみ不法投棄の増加などに対処しようと、安城市立明祥中学校の生徒が「明中クリーン活動 in 油ヶ淵」を実施しており、今では近隣住民も参加する活動に発展し、クラブも1992年から支援している。第47回の今回も多くのごみを回収、環境浄化に貢献できた。
 (6月13日 第2760地区 愛知県)





楽しい3世代交流 「花さかじいさん」

〈笛吹RC〉

笛吹市社会福祉協議会と連携し、地域の保育園で8回目の「花さかじいさん」事業を実施。マリゴールの苗1200ポットを園児、保護者、地域の老人クラブメンバーなど、3世代1組でプランターに植えた。園児のお礼の合唱や、保育園の第1期卒園生が当クラブの会員というサプライズもあり、楽しい場となった。地元テレビ局の取材も受けた。

(5月26日 第2620地区 山梨県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK



長年活躍の消防車、京都と タイの懸け橋に

〈京都北東RC〉

2年前、タイの姉妹クラブ・ケンクーンRCから、コーンケン市への消防自動車寄贈の打診を受けた。そこで京都市、市消防局の協力を得て2台を無償で譲り受け、同市に寄贈。輸送は両クラブで担当した。輸送前に京都市役所で行った贈呈式で、うち1台を披露。タイ北東にある同市は急速な都市化でインフラ整備が追いつかず、このたびの寄贈となった。

(6月26日 第2650地区 京都府)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

地域のお年寄りを新幹線に 招待

〈函館RC〉

函館市内の3つの老人福祉施設の入所者と関係者50人を、昨年開業した北海道新幹線に招待。行きは函館駅から道南いさりび鉄道で木古内駅に向かい、昼食と買い物物の後、新幹線に乗車。木古内―新函館北斗駅間、約13分と短い乗車時間だったが、参加者に喜んでもらうことができた。

(6月6日 第2510地区 北海道)



創立50周年でAED寄贈

〈佐世保東RC〉

姉妹クラブの韓国・釜山蓮堤RCなど多数の関係者の出席を得て、クラブ創立50周年記念式典を5月14日に開催。会員が作詞・作曲した「佐世保東RC50周年記念オリジナルソング」も披露された。2月27日に記念事業の一環としてJR早岐駅に寄贈したAED(自動体外式除細動器)の目録贈呈も行われた。

(第2740地区 長崎県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK



姉妹クラブと交流会

〈小松RC〉

姉妹クラブの蒲郡RC（愛知県）から会員・家族14人を招き、交流会を開催。初日はろくろを回しての茶わん作りと染め付け体験、曳山（ひきやま）子供歌舞伎の見学と夜間例会で交流。翌日も石切り場や金沢市の近江町、東山周辺の見学など盛りだくさんの内容で、小松の歴史や文化に触れた。歩き疲れたが充実の内容で参加者に満足感が広がった。

（5月13〜14日 第2610地区 石川県）

ROTARY AT WORK



中学校で「職業を学ぶ会」

〈結城RC〉

結城市立結城東中学校で「職業を学ぶ会」を開催。夏休みの職業実習を前にした2年生にいろいろな職業への知識を広げてもらおうと、講師12人が職業について話した。講師は専門職や製造業、電気工事などに携わる9人の会員と、外部から看護師、保育士、公務員の3人が務めた。テレビ局の取材もあり、ロータリーの認知度向上にもつながった。

（5月31日 第2820地区 茨城県）

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

秋田市内7RC協同でポリオ撲滅を呼びかけ

〈秋田・秋田中央・秋田東・秋田北・秋田南・秋田港・秋田西RC〉

秋田市内7RCから約50人が参加し、協同でポリオ撲滅募金活動を実施。JR秋田駅周辺で開催されたイベント「これが秋田だ！食と芸能大祭典」に向かう人たちなどから多くの協力を得た。一般市民へのポリオ撲滅の啓発と、ロータリーの公共イメージ向上に大きな成果を得ることができた。

（5月27日 第2540地区 秋田県）



ROTARY AT WORK

創立60周年で国際交流基金奨学生を充実

〈長崎北RC〉

1987年に創設したクラブ独自の奨学金事業「長崎北ロータリークラブ国際交流基金」が30周年を迎えた。毎年3人前後の大学院留学生に奨学金を支給するもので、2016・17年度はクラブ創立60周年を記念し5人に支給。奨学生は累計15カ国、100人超となった。姉妹クラブからも参加を得た記念式典では、2人の元奨学生が代表として、現在の活躍ぶりを語った。

（6月2日 第2740地区 長崎県）





ロータリー アットワーク

ROTARY 写真編
AT WORK

若き経営者たちと協同で 地域清掃活動

江田島ロータリークラブ
第2710地区 広島県

江田島RCは、数年前から地元商工業の45歳以下の後継者、および若手経営者の集まりである江田島市商工会青年部との交流を続けています。6月9日には協同で、地域内10カ所の公衆トイレの清掃活動を実施。これは青年部が毎年6月10日の「商工会の日」に合わせて地域で行っているボランティアで、今回は先方から当クラブへ誘いがあり、協力させていただきました。

両者の交流のきっかけは、当クラブの会員がロータリークラブと青年部の両方に所属していたことに始まります。最初は夜間例会で飲食しながら交流する程度でしたが、次第に関係を深めていき、当クラブの例会に外部講師を招いたときは、青年部員たちを招待し、卓話を聞いて学んでもらったり、ゴルフコンペを開催して親睦を深めていきました。また30歳以下の青年部員にはRYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）にも参加してもらうようになりました。

これらの交流を重ねるうちに、青年部員たちの間にロータリーの活動や思想への理解が広まり、ロータリークラブに入会する青年部員も現れました。また、逆にロータリークラブから青年部に入会した会員や、自身の息子を青年部に紹介し、入会させた会員もいます。今では18人中5人の会員がロータリークラブと青年部の両方に所属。若手の会員が増えたことにより、わがクラブの平均年齢は56・2歳。クラブも活性化しています。地域を担う若き経営者との交流からは、われわれロータリアンも多くのことを学べますし、必ずやこれからの地域発展の役に立つはずです。今後も地域活性化のために、より良い関係を築いていきます。

（桑田徹也・記）

電線の影さえ通る炎天下

神奈川・横浜戸塚

中村 裕一

草むしり妻の日課となりけり

山梨・甲府西

太田 道夫

夏雲や球児の声の川越えて

愛知・瀬戸

玉井美智子

母いつも豆飯を炊く誕生日

愛知・瀬戸

沢田 充子

尼寺の卵の花散るや潦

愛知・名古屋北

吉田 正克

七夕のお裾分けとてお惣菜

岐阜長良川

井戸 豊彦

行く程に夏めく浜の匂ひ濃し

岐阜・高山西

小森 丈一

電車待つ駅の子燕愛でながら

富山南

升田 義次

雪溪を滑り降りるは一瞬に

東大阪東

溝畑 正信

控へ目な浜屋顔を踏むまじく

兵庫・神戸西

村野 利昭

大海を引き寄せ祓ふ海開き

大阪・堺フェニックス

米田眞理子

残心や今年ほたるを見そびれて

兵庫・神戸西

後藤むつ子

無住寺の風鈴古りし音晒す

福岡城南

吉武 草徑

坂道を傘の行き交ふ濃紫陽花

埼玉・日高

犬竹 碗白

初夏の水清し水車の回りけり

埼玉・日高

清水佳代子

枇杷の実はおレンジ色の袋にて
包まれてをり遠目には花

香川・高松

平峯 千春

十坪程の池を埋める花菖蒲
中を緋鯉のゆれて泳げり

岐阜長良川

井戸 豊彦

濃く淡くあやなす緑樹々に満ち
いつもの森も大きく見ゆる

愛知・豊橋

長屋 孝美

青嵐尾根を吹き越す勢いに
川面に煌めく若鮎の群れ

愛知・名古屋名駅

早川 敏江

毒だみは梅雨空の下生々と
暑さに向う余力に満ちる

神奈川・相模原

佐藤 清一

七月が年度初めのロータリー
夏の暑さも初々しくあり

茨城・常陸太田

小祝 年織

鈴生りの初めて植えたミニトマト
真っ赤に熟れて添え木重そう

埼玉・所沢西

大原 律子

夕暮れの宵に羽ばたく踊り手たち、
復興願いの「青葉まつり」よ

福島・古川東

高橋 義宣

正面に安達太良山を見つつ行く
この道やよし二往復なす

福島・須賀川

柿沼 良訓

露草はほのかに青くひとつ咲く
群れて群青なることの始まり

熊本水前寺公園

北里美知子

山かげのメトロポールに七年を
棲みてせみ彫る人し念ほゆ

東京ワセダ

福地桂之助

母の日に五体満足九十九

奈良 寺田 康宏

友だちとお友だちではどう違う

新潟・吉田

佐藤 良一

幸せは小さくてこそ身に充ちる

千葉・市川

照井 親資

強い人敗北感を与えない

愛知・新城

鳥居 栄一

勝ち負けもいいが引き分けある人生

富山・射水

江守 正

ネクタイの要らぬ世代になってきた

鳥取・倉吉中央

牧野 芳光

食欲が出るかも秋が見えたなら

大阪・堺清陵

物種 唯修

年重ね色香重ねてビンテージ

神奈川東

但野真実子

闇魔さん心打たれて許す嘘

京都・宇治鳳凰

辻 幸男

高齢の割引微笑う還り道

青森北東

加藤 彰

すれ違う人に挨拶するベンチャー

新潟

小林 悟

お酒から薬に代わる飲み仲間

神奈川東

山木 幹夫

指導者は人に強くて武器が好き

大分・中津

福澤 廣明

口紅に色を足そうか秋の風

大阪金剛

井出俊太郎

楽しいが君の一言潮が引く

高知西

小野山敬一

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』俳壇係宛

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』歌壇係宛

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』柳壇係宛



稲畑 汀子 選

み吉野へ花過ぐ頃の一人旅

奈良 寺田眞佐子

吉野山は桜の花で有名である。人々が大勢訪ね、その情景に堪能する。あまりに有名であるために桜の時期の真つ最中には、その花の情景を見ようと大勢の人たちが吉野山を訪ね混雑する。毎年のようにその混雑は絶えることはない。それを知っている作者は少し時期をはずして、一人旅をしようと思う心の推移が想像される句である。

女王花あるじの帰り待つ蕾

兵庫・甲子園 田中 由子

女王花は月下美人のことである。蕾（つぼみ）をつけると徐々に膨らみ、いよいよその夜咲く前は大きく蕾が膨らんで上を向き、徐々に咲き始めるのは夜の七時か八時になり、四、五時間咲き切ったらあとは萎（な）えてしまう。今宵咲くであろう女王花は、まるであるじの帰りを待っているようにみえる作者の歓声が想像される。

新しき風鈴古き音を立て

兵庫・明石北 前田 一郎

涼しさや九十五翁と俳談義

東京蒲田 阪田 昭

手花火の消えて瞬時の間動く

東京西南 菊池 恭三



佐佐木幸綱 選

馬になりゾウさんになり確かめる
わが背がになう子らの重みを

和歌山・田辺 山路 守

馬やゾウになって、幼い子どもを背中に乗せて歩いている父親の歌です。「馬になりゾウさんになり」とある第一、二句がうまい。「……ゾウさん」としたこと、子どもの世界にぐっと入り込んだ歌になりました。

注記があつて、年齢がいつてからの子どもであること、子どもは二人いることが記されていました。「子ら」の「ら」はそんな実際にもとづいているようです。

逝く前のひとひ渚を歩きけり
まぶしかりけりパラソルの妻

千葉・富里 寒郡 政雄

亡くなられた奥さまの思い出です。見事に仕上がった佳作です。

思い出はいろいろあるのでしょうか、ある一日の、一つの映像にしばって具体的に表現して、印象的な一首にしあげています。まるで映画の一カットのようですね。

また、文語の過去の助動詞「……けり」を二回使って、調子をととのえ、リズム的にも個性のある作になっています。

じょうびたきは畑耕せば遣つて来て
呼吸を合わす人なつこいやつ

大分・竹田 高野 将



てじま晩秋 選

暑い日の話題ガラスの皿に盛る

大阪西 鴨谷瑠美子

話題をガラスの皿に乗せる「川柳の現代的表現力の巧さ」と言えます。それがギンギンと伝わってきます。そうしているうちに周囲は静かな美しい季節に移行していくのです。

背表紙が好きで本屋をハシゴする

群馬・伊勢崎 秋山 春海

子どもの時から本が好きで、中学校図書室の読み物類はほとんど網羅しました。秋山さんの作品に「あそうか」といたく感動を覚えました。ハシゴの文字に作者の思いが詰まっています。

天才がブームをつくる駒と玉

北海道・斜里 辻 舒宏

駒は言わずと知れた将棋の駒です。玉とは卓球ボールのことです。将棋では藤井聡太四段、卓球の伊藤美誠、平野美宇選手の大活躍……今時の若者はくなどと批判する時代ではなく、経験が少なにもかわらずベテランを負かす、卓越した能力には本当に驚き、感動でした。世の中を明るくして、小中学生に夢と希望を与えてくれます。実にうれしいことです。

青空に海が編み物しているね

東京日本橋東 井口 弘子

やり直す夫婦歩幅を確かめる

青森・五所川原中央 小野 順蔵

モーツァルトとオペラ

オペラ歌手
二期会会員 宮本 益光

オペラは一六〇〇年ごろイタリアで生まれました。世界中に広がって先進国のほかに劇場があります。中でもモーツァルトは天才中の天才で、二二のオペラ作品を作っています。

第一作はモーツァルトが一〇歳頃に作曲した『第一戒律の責務』というキリスト教の教義にのっとった実に堅い作品です。当時のオペラは王侯貴族のものでしたが、モーツァルトは、オペラを民衆の娯楽にし、イタリア語だけでなく母国語であるドイツ語でオペラを作り、一般の人と一緒に音楽と劇で楽しみ合いたいと考えていました。

モーツァルトは三五歳で生涯の幕を閉じるわけですが、有名な四大オペラ、『フィガロの結婚』、『ドン・ジョヴァンニ』、『コジ・ファン・トゥッテ』、『魔笛』を作曲したのは三〇歳からです。彼は、音楽で楽しむような仕掛けをもっと織り込んで、オペラの娯楽的要素を高めようと考えました。事実、『フィガロの結婚』からそれまでなかったようなオペラの創作を始めます。もともとオペラは一人が歌って、そしてみんなで歌

う合唱が通例でした。それを重唱を織り込むことでドラマチックなものを作ろうとした流れがあります。

『魔笛』は、モーツァルトが残した最後のオペラ作品で、死の年、一七九一年九月二八日に作曲が終わり、その二日後に初演されています。この作品だけドイツ語の歌詞を持ち、オペラというより歌って遊ぶような、今で言うオペレッタやミュージカルに近く、どの国の人でも楽しむことができました。ストーリーは、昼と夜の二つに分かれた世界にある一人の王子が迷い込むところから始まります。時代も場所も限定されていませんが、紀元前のエジプトの話ではないか、というのが通説で、モーツァルトはファンタジーを作ろうとしていたと言えます。『魔笛』が子どもが最初に見るオペラと言われるのも、そういった側面があるからです。

『魔笛』には一貫して「愛」が存在し、主要人物は皆「愛 (Liebe)」あるいは「愛する (Lieben)」を口にします。愛の対義語は憎しみですが、『魔笛』では死を意味します。『魔笛』の中で、愛を歌うことによって死が見えて、死を思うことによって愛という名の生が見えるというのは、実に大きな人類愛を説いていると思います。

(第二七六〇地区・愛知県・名古屋南RCにて)

いつか読んでみたかった日本の名著シリーズ ⑭
石田梅岩『都鄙問答』

八戸南RC 米内 安芸

先輩ロータリアンの中にはすでに石田梅岩が創唱した倫理学「石門心学」を研究されて『都鄙問答』を原書で読まれた方々もいらっしゃると思うのですが、この本は、日本人の職業倫理観が、浅学非才な私にも分かりやすく示されています。二〇一六年規定審議会で採択された職業奉仕などの齟齬の源流にある日本人のロータリー哲学とも深く重なることがあるように思えます。

今こそピーター・ドラッカーの哲学的マネジメント思想が語られますが、わが国は二〇〇年以上(一七二九年に石田梅岩は講義を始めた)もさかのぼる江戸時代の庶民の多くが、読み書き算盤とともにこの学問を教わっていたことに驚かされるとともに、日本のロータリアンが抱え込んだジレンマの源を垣間見たようです。(第二八三〇地区 青森県)

石田梅岩
『都鄙問答』

現代語訳・城島明彦

全文をとことん
読みやすくなりました!
227分で読めます

いつか読んでみたかった日本の名著シリーズ⑭

石田梅岩 著／城島明彦 現代語訳
致知出版社
2016年9月刊

●人生を変えた一冊、思い入れの深い一冊、最近感動した本を紹介。320字以内。詳細は投稿規定が「友」ウェブサイトにて!

卓話



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

食育の話

(学)服部学園常務理事 服部津貴子

二〇〇五年に「食育基本法」が制定されました。同法成立の理由は七つあります。まず「食を大切にする心の欠如」です。日本は食料を大量廃棄し、残飯の廃棄総額は年間一兆円以上です。これらを減らし、感謝の気持ちで食事をすればより健康に過ごせます。続いて、「栄養バランスの偏った食事や不規則な食事の増加」、「肥満や糖尿病など生活習慣病の増加」、「過度の痩身志向」。これらが原因で医療費は年間四一兆円を突破しています。バランスの良い食事をして、病気になる人を減らすこと

を同法は意図しています。

そして、「食の安全性の問題の発生」。国はその対策に予算を付け、食の安全性を確保しようとしています。さらに「食の海外への依存」。現在、日本の食料自給率は三九割です。約六割を輸入に頼り、その三分の一相当を廃棄しています。国内の地産地消を増やすことが肝要です。最後に「伝統ある食文化の喪失」。和食を後世に伝えることが不可欠です。これら七項目を改善することが「食育基本法」の目的です。

食育の基本は、生活習慣病にならない人々を育てること。三本柱として、「バランスのとれた健康的な食生活を実践する能力の養成」、「幼い頃からしつけやマナーを身に付ける」、「環境や食料、エネルギーの問題を考える力、リサイクルや食料のむだをなくす習慣を養う」があります。

現在、食育の視点から「こ食(孤食・個食・固食・小食・粉食)」が問題となっており、オキシトシンという脳内ホルモンは、心に安らぎをもたらす体内物質です。家族や好きな人とバランスのとれた食事をする、このホルモンは活性化し、長寿にもつながります。「こ食を防ぐことは、栄養価、精神面で健康になるということなのです。

(第二七五〇地区・東京都・東京芝RCにて)

私の一冊

代表的日本人

東京池袋RC 小泉 博明

グローバル社会に求められる人材とは、外国の文化を理解するだけではなく、自国の文化を発信できなければならない。また情報が氾濫し、多様性が問われる中で、自らの人生の揺るぎない座標軸の原点を問い、失われつつある日本人の生き方を再考する必要がある。キリスト教徒であった内村鑑三が心血を注ぎ、英語で日本の思想や文化を西欧社会に紹介したのが『代表的日本人』である。ここには西郷隆盛、上杉鷹山、二宮尊徳、中江藤樹、日蓮上人の五人が挙げられている。彼らに共通するのは、無私の精神であり、有徳な人間を育てようとする真摯な生きさまである。また、天と言われる人間を超えた、超越的なものへのまなざしである。現代人への大きな警鐘となり、後世へ継承されるべき好著である。

(第二五八〇地区 東京都)

代表的日本人

内村鑑三 著
鈴木範久 訳



青119.3
岩波文庫

内村鑑三 著／鈴木範久 訳
岩波文庫
1995年7月刊



安芸市の特産品の一つ・ちりめんじゃこを使用したご当地丼。炊きたてのご飯に釜あげちりめんをのせ、ノリ、大根おろし、ゴマなどの薬味とユズ酢で作ったタレをかけます。お店ごとにバリエーションがあり、写真は名産ナスの素揚げ添え。ぜひ丼めぐりを！

山本剛平（高知県・安芸RC）

わがまちの味
安芸 釜あげちりめん丼

イによる相互の体験学習と交流を行いました。八五年には協同で、当時の国際ロータリーのプログラムとして、WCS（世界社会奉仕）を実施、韓国大水害へは韓国放送公社を通じ、見舞金を寄贈しました。

八八年のソウルオリンピックでは、日韓友好事業、姉妹締結二〇周年、和歌山RC創立五〇周年を記念して、釜山市・龍頭山公園への「平和のラッパ」モニュメントの建立を協同事業として行いました。

九〇年代に入ると、九二年の和歌山RC創立五五周年に、和歌山市に南釜山RCと台湾・板橋RCの三クラブ合同で時計塔を寄贈しました。九五年の阪神・淡路大震災、二〇一一年の東日本大震災の折には、韓国からいち早く義援

金を、わざわざ手持ちで寄せられて、私たちは感謝と感動を覚えたものです。

近年は会員の交流が主な活動ですが、今後も交流の歴史的意義を再認識しつつ、国際奉仕精神を基にさらなる歴史を刻むべく、活発な活動を進めていきます。

（第二六四〇地区 和歌山県 ラジオテレビ放送業）

地区大会に

子ども合唱団出演

安芸 中川 彩子

前年度の四月一日、第二六七〇地区・地区大会の初日に、声楽家の私が指導する安芸児童合唱団はまゆうが、アトラクションに出演しました。前田直俊ガバナー（当時）から声が掛かり、実現したものです。

持ち時間一五分の内容を決め、二月からは金曜日の通常練習に加え、日曜日に臨時練習を行い、当日を迎えました。

一曲目は地元のグルメ「釜あげちりめん丼」（上欄参照）の応援ソング、「釜ちり音頭」。小太鼓によるお囃子でスタートし、歌に合った振り付けを考え、児童合唱団とキャラクターの「ちりめんドンちゃん」とで、鳴子踊りを披露した次第です。

二曲目は安芸市出身の作曲家・弘田龍太郎（一八九二～一九五二）の曲をメドレーで。「金魚のひるね」は手話を付けて歌い、三曲目は中国の伝統楽器・二胡の伴奏で「浜千鳥」を私がソプラノ独唱。二胡の音色が風情を醸し出して

いきました。

そして最後の曲は「走れ！漫画列車」。日本最後のローカル線として、二〇〇二年七月一日に開通した土佐くろしお鉄道阿佐線は、後免駅から奈半利駅まで走るので、通称「ごめん・なはり線」と言われますが、『アンパンマン』の作者・やなせたかし氏が全二〇駅のキャラクターを描いたことで知られています。

当日は安芸駅の「あき うたこちゃん」、球場前駅の「球場 ボール君」、穴内駅の「あなない ナスびさん」といった各駅のキャラクターたちが登場。着ぐるみの中は、実は子どもたちのお母さんたちで、皆さんパフォーマンスを繰り広げ、大変盛り上がりました。

心のこもった拍手と、異口同音に「感動した」という言葉をいただき、私たちには忘れられないステージとなりました。

（第二六七〇地区 高知県 音楽教育）



着ぐるみの中はお母さん。合唱団との息もぴったり

い。遠い所にいる者の方が自分を認めて、わざわざ訪ねて来てくれる。その時のうれしさは何ともいえないというような意味であらう。身近にいと、良いところが見えにくくなるのかもしれない。

一方、『徒然草』には「よき友三つあり。一つには、物くるゝ友。二つには、医師。三つには、智恵ある友」とある。物をくれる人を第一に挙げていたが、自ら世捨て人のような生活を送っていた兼好法師に、世間的な物欲があったとは考えられない。心の癒やしになる物や、潤すような事をしてくれた人を、ありがたいと思ったのではなからうか。医師を友として望んだのは、彼は健康に自信がなかったのかもしれない。

智恵ある友には、いろいろ教示してほしかったのだらう。また、友とするに悪き者の一つに「病なく身強き人」を挙げています。丈夫で元気に動き回っている人は、とかく病に苦しんでいる人への思いやりが見られず、人間として優しさに欠けていると感じられたのだらう。

ストレスの多い現代人の多くは、ドクターと親密でありたいと願っているかもしれない。

(第二七三〇地区 鹿児島県 不動産管理)

今年も 友好クラブ例会開催！

浦和東 平田 利雄

爽やかな快晴の五月二二日、金沢西RCと友好クラブを締結し三回目を迎えた今年の合同例会は、古都金沢で盛大に開催されました。浦和



個性あふれる出し物に会場は大盛り上がり

東RC四六人と金沢西RC三五人が一堂に会したの合同例会は壮観です。

金沢西RCの小林洋会長(当時、以下同)の点鐘、ロータリーソング「我等の生業」を全員で斉唱、「四つのテスト」の唱和で始まりました。卓話では、締結時の浦和東RC会長・町田哲雄会員が締結当時から歳月を振り返り、くつきりと記憶に残る各種奉仕活動を紹介。聞き入っていた会員はそれぞれ当時を思い起こし、締結後入会してきた会員も、理解を深めました。続いて、小林会長の「四聖」についての卓話では、イエス・キリスト、ソクラテス、釈迦、孔子について分かりやすく紹介され、有意義な例会を締めくくりました。

その後、共に会食し交流会を開催。クラブのカラーが色濃く表れた出し物に、会員一同、笑ったりうなずいたりと和気あいあいのひととき、約三時間の合同例会もあつという間にお開きと

なりました。

翌日は合同ゴルフコンペを開催。今年は優勝を目指して気合を入れて臨みましたが、旅の疲れからか惜敗に終わりました。新幹線のホームまで見送ってくれた金沢の皆さんに、二日間にわたる最大級のおもてなしのお礼を改めて伝え、来年の再会とゴルフのリベンジを誓い、金沢を後にしました。

(第二七七〇地区 埼玉県 工業用ゴム製品)

韓国・南釜山RCとの 五〇年を振り返って

和歌山 中島 章雄

和歌山RCは、今年四月二七日に創立八〇周年を迎えました。創立三〇周年時の一九六七年四月、隣国同士の友好と繁栄を願い韓国・南釜山RCと姉妹クラブを締結。以降五〇年が経過しました。

まずは六六年和歌山RCの一人が訪韓し、翌年正式に南釜山RCの一〇人が来和され締結調印。その後は相互訪問を中心に交流を重ね、八〇年代の活発な事業展開へとつながっていきました。

八一年からの三年間は、両クラブに加え、和歌山西RCとの共催により、韓国の肢体不自由児者職業訓練施設へ、訓練設備や寮の生活を改善する設備を寄贈しています。また「世界と平和」をテーマにした小学生の作文を募集し、優秀者一〇人を南釜山へ派遣。翌年は韓国で募集し、南釜山から小学生を受け入れ、ホームステ

歌山、南紀・新宮を巡るクルーズだ。

快晴の博多港。船の専属バンドの軽やかな音楽に迎えられ、乗客は次々と乗船する。四階フロムナードデッキにて、スパークリングワインで乾杯。響き渡る出港合図のドラの音、幾重もの紙テープをなびかせながら、船は岸から離れる。

今回の仲間は七人で、うち三人は初めてのクルーズ体験者。「船の中って退屈じゃないの?」私も最初はそう思ったが、豪華客船ともなれば、計算されたサービスで決して退屈をさせないようにプログラムが組まれているのだ。食事と食事の間には、船内のツアーやリフレッシュ体操、音楽演奏、映画上映など趣向を凝らしたイベントが用意され、決して飽きさせない心遣いがされている。

船内のラウンジやテラスではフリードリンクが提供され、充実したティータイムが過ごせた。「食」はにっぽん丸の代表的な魅力の一つで、船内で焼かれるパンも有名である。

夕食前、船長主催のカクテルパーティーは、生演奏とともに楽しめ、食前酒代わりとなった。夕食時は七人グループの席が用意され、ウエルカムディナーは私の大好きな洋食だった。ドレスコードはセミフォーマルで、高級レストランのディナー気分になり、食事も一段とおいしく感じた。

食後はソプラノ歌手とピアニストのメロディーを楽しんだり、いろいろなイベントに参加。部屋に戻ると心地よく眠ることができた。翌朝、寄港地である和歌山県の新宮港に着く。オプショナルツアーとして「伊勢神宮・内宮参

詣コース」と「熊野速玉・那智大社と熊野古道

大門坂コース」の二手に分かれての観光。私は仲間と世界遺産でもある「熊野速玉・那智大社と熊野古道大門坂コース」を進む。日本三大古道のひとつの熊野古道は、うつそうと茂る杉の大樹、また大門坂は全長六〇〇メートルの石段が続く。那智大社から見る「那智の大滝」「那智山青岸渡寺」の三重塔との調和が、何とも美しいのに驚き、感動した。

にっぽん丸は日本船だけに、日本人旅行者の心も分かっている。三階のグランドバスは、まるで旅館の大浴場のようなのである。大きな窓から流れて見える景色がなければ、どこににいるのかを忘れてしまいうのであった。

今回の仲間は、最高齢者八二歳で、後は六〇〜七〇代だが、ロータリーを通じて素晴らしい出会いを体験し、生涯善き仲間として知り合うことができたのが、今回のクルーズに至った理



ロータリーで得た、生涯の善き仲間との出会い

由ではないかと思う。ロータリアンであるかいかを超えた、人との出会い。改めて、「ロータリーありがとう」と言いたい。

(第二七四〇地区 長崎県 事務用品(文具事務機販売))

わが友人たち

鹿児島東南 柿元 敬一

私たちは生涯に何人の友人に出会い、心を通わせ合うのだろうか。

私は「一期一会」を信条として、いろいろな場であう人々とお付き合いをすべて大切に考えている。限られた人生である。その数限りない出会いを生かして、私も生きがいを感じ、相手の人にも喜んでいただけるように努めている。出会いこそ宝と信じている。

学生時代の同級生、青年会議所の同期生、奉仕団体での仲間、同業者、町内会の人たち……：そういう人たちとさまざまな交際を深める中で、年に数回の「飲ん方」の機会を持ち、国内はもちろん海外旅行にも連れ立って出かけたりもする。

人生辛いことが多い。苦しい目にも遭う。しかし、どんな場合にも友情を傷つけないようなことは避けたいし、むしろ助け合うことで友情を高めていきたい。良い面を生かし合って、深めていくような友情の輪を広げ続けたい。

孔子は「朋有り遠方より来たる、亦た樂しからず乎」と述べた。人間とは妙なもので、自分の周辺にいる者の力はあまり認めようとしな



今、取り組まないこの愛らしい宮古馬が……

専門家の検討が必要になる、という立場を県は示しています。

経費は出さない、県外移動には難色を示すという沖縄県の態度が続く限り、宮古馬の絶滅の危機はどんどん迫ってきます。とにかく種の保存のため、県外受け入れ先探しが課題です。

しかし宮古島は遠隔の地にあり、確かに、繊細な馬への対応には専門的知識が必要でもあります。各方面からの要請、依頼を受け、獣医師である私は今、善処策の具体化に奔走中です。ロータリアンとしても、見過ごすわけにはいきません。

具体的には、①沖縄県に十分な補助金を求める。②天然記念物であっても、種の保存のための県外移動の認可を早急に求める。③県外の受け入れ先（動物園、テーマパーク、観光牧場、自治体の牧場など）の具体化。④宮古島の飼育者に、当面の支援金供与を行う。⑤宮古馬飼育

経費に用途を限定したふるさと納税の活用、などが挙げられます。施策にあたっては、怪しい支援団体の見極めにも注意を喚起しています。

日本の政府も自治体も、不要、不急、時には有害な物に、巨費を浪費するのは大好きですが、心の琴線に触れるような事象への関心は、あまりにも乏しいではないか、と思います。

それが、先進国の中で日本が軽んじられる、最大の理由である、と考えるのはシニカル過ぎるでしょうか。

（第二七六〇地区 愛知県 獣医師）

元米山奨学生と再会

岡崎東 山内 隆一

私は二〇〇五―〇七年度まで、ベトナム出身の米山奨学生ゲン・タイ・ズイ君のカウンセラーを務めました。彼は大学卒業後、一時、日本の企業に就職しその後、母国ベトナムに帰りましたが、タイ君の帰国後も私はメールでの交流を重ね、彼の元気な様子を確認してきました。しかしもう一度、タイ君に会いたいとの思いで二〇一七年二月、私は旅行を兼ねホーチミンに赴きましたところ、タイ君は元気に私を迎えてくれました。

短い滞在の期間中には、一日観光の案内と買い物サポート、昼食はタイ君の両親などご家族と一緒に、おいしいベトナム料理をいただきながら歓談することができました。彼も、日本の生活が充実していたこと、奨学金の支給は



ベトナムで懐かしい再会

とてもありがたかったことなど、うれしそうに語ってくれました。また再会できることを約束し、私はホーチミンをたちました。

奨学生は、一度母国に帰ると、残念ながらなかなか連絡が取れないことが多いと聞きますが、幸いにも私は、こまめにメールの交信をしてきたこともあってでしょうか。こうして懐かしく再会することができたのであります。

（第二七六〇地区 愛知県 司法書士）

ロータリーありがとう

松浦 山本 浩平

乗船したのは美味なる船として知られる「につぼん丸」。元ロータリアンやその家族たちと、五月一六日―一八日の二泊三日、新緑の和

友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など、1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

地域と共に歩みたい

河北南 西 茂

私たち河北南ロータリークラブ（RC）の所在地域には、石川県内最大の湖沼・河北潟があります。ここは古来より寒ブリなどが取れる屈指の漁場でありました。潟周辺は昭和の時代、国により大規模な干拓事業が進められ、農家は乳牛を飼育し、近年は「加賀野菜」として知られるおいしい農産物を育てるなど、農産物の宝庫となっています。

河北南RCは河北RCの二五周年事業として、一九九七年に創立しました。以来、「よりよい実践活動と運営を目指す」を趣旨として、活動を続けてきました。ボーイスカウト団員を子息に持つ会員がいたことから、スカウトたちと干拓地で植樹や草刈りなどの手入れ、野鳥保

護として巣箱を取り付けるなど、年間を通して、会員全員参加の形での活動が続いています。

当地には一九二〇（大正九）年に起源を持つ、河北潟を一周する駅伝競走大会もあります。毎年秋に開催され、ちようど二〇二〇年の東京オリンピックの年に第一〇〇回を迎えるというところで、近年、この大会を盛り上げようという機運が高まっています。今年は九七回目。地域の伝統ある大会を応援しようと、いろいろな企画を練っています。

ロータリークラブの活動方法は多種多様です。私たちの地域は自然に恵まれ、大正時代からの行事も伝わっているという特色があります。土地柄を生かしつつ会員全員で活動すること、そして、その時だけの活動に終わらず、常に私たちの生きる地域と共に歩むことを、心がけています。

（第二六二〇地区 石川県 制御機器）



地に足を着け、次世代と共に地域創生を

宮古馬、絶滅の危機

名古屋和合 鷲塚 貞長

日本には、北から北海道和種（通称：道産子）、本曾馬、野間馬、対州馬、御崎馬、トカラ馬、宮古馬、与那国馬と、在来種八種の馬が生息し、そのいずれもが、絶滅の危機にさらされています。中でも宮古馬は、緊急対応が不可欠な状態にあります。

宮古馬は一三世紀以前から沖縄県宮古島で飼育されており、昭和三〇年代には一万頭もがサトウキビ畑の農耕馬として活躍。粗飼料に耐え、力持ちの体高一二〇センチほどの小型種で、性格が温順で人馴れが良い、愛らしい品種です。

宮古馬は沖縄県の天然記念物指定を受けています。ただし、諸事情も抱えているのです。結果として、財政の乏しい宮古島市と、現場の飼育者に、その対応は一任されています。

宮古島で、今五〇頭の宮古馬の飼育している人によれば、市と日本馬事協会からの補助金だけでは経費の半分にもならず、飼い主も高齢化し、農耕馬としての役目を終えた馬たちを、善意だけで維持管理することは、到底不可能なことです。

島には、市長が会長を務める宮古馬保存会があり、県の補助金申請を再三行っていますが、回答は得られないとのこと。市としては、二〇頭くらいが地元で面倒を見る限界である、と県外飼育の受け入れを検討しています。しかしそうなるとう度は、天然記念物の県外移動には、



高山中央ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF
TAKAYAMA CHUO



例会風景。中田専太郎会長(左下)と例会前のストレッチ



銘木を譲られた。最新工法で公共の建物や商業施設など幅広く手掛けるが、伝統の技を生かした木造民家や神社造営も請けている。作業場では年配の棟梁が黙々と木材に墨付けをしていた。「かにかくに物は思はし飛驒人の打つ墨縄のただ一道に」

有名な『万葉集』の歌が思い浮かぶ。

高山中央RCは今年八月、地域連携の奉仕活動として、小学四・六年生対象の木製椅子作り体験会を実施した。飛驒高山つくり手の会副会長の國定勇さんが指導し、飛驒家具メーカーの飛驒産業が材料を提供。外部の協力を得ての事業だ。

一夜、皆さんが

歓迎の席を催してくれた。会場は会員の仲谷政美さんの料亭「銀風」。精進懷石を簡略化した「宗和流本膳くずし」をいただく。宗和流は高山藩二代目の金森可重の子、宗和が興した茶道流派だ。白飯とすまし汁が出て腹が落ち着くと、前年度『ロータリーの友』委員会地区代表委員の清水幸平さんが口火を切り、一同が高山の祝い歌「め



古橋ひとみと実さん



清水幸平さん



仲谷政美さん

創立キーマン
(左から)
島良明さん、
剣田廣喜さん、
伊藤正隆さん



でた」を唱和する。「めでためだの若松さまよ、枝も栄ゆる葉も繁る……」。花笠音頭の歌詞に独特の悠長な節回し。「昔、木材の集積場である『みなと』で人夫たちが酒を酌み交わして唄ったとい、可重の屋敷普請に棟梁が披露したそうです」と、清水さんに教わった。歌の後は無礼講が決まりだ。参加者に古橋ひとみさんと実さんがいた。高山中央RCに四人いる女性会員の一人である古橋さんは「飛驒高山おもてなし文化振興協会」の受講生として太鼓を習った。この協会は、芸妓の後継者難が深刻な高山で、芸妓の養成、お座敷芸の継承を目的とする。古橋さんはスナック卯木のオーナーママだが、「声が掛かるとお座敷に上がりますが、

最近はずいぶん」と笑う。高山中央RCは、高山西RCがスポンサークラブになって一九九一年に創立した。高山地区では一番若いクラブだ。剣田廣喜さん、伊藤正隆さん、島良明さんの創立キーマン三会員に話を聞いた。いずれも会長経験者。剣田さんは国際ロータリー(RI)第二六三〇地区の直前ガバナードで父上が創設時の特別代表だ。「三人とも青年会議所出身で創設時は四〇代でした。父親たちもロータリアンでした。最初からの自由な雰囲気は今に受け継がれています」と剣田さん。島さんが会長の時にRI会長賞を受賞してから一年空いて以降、今年で一一年連続して受賞というから、すごい。昨年は創立二五周年を祝い、「わの心を文化に!! 飛驒高山で!!」をテーマに地区大会を成功させた区切りの年だった。「これを機に長いスパンの活動を考えたい」と、中田会長が船出の例会で初心を述べた。この日が高山中央RCの新しい「いい日、旅立ち」になった。

岩田一平(いわた・いつべい)

ジャーナリスト、歴史作家。アサヒカメラ、朝日新書編集長など歴任。近著に『欠点』を「長所」に変える就活力(サンマーク出版)がある。

熊谷武二(くまがい・たけじ)

写真家。公益社団法人日本写真家協会会員。人物、歴史を取材テーマに、雑誌、出版物等に発表。写真集『神戸・消滅と再生』(講談社)。

高山は山に囲まれた町。
正面に見える山並みは北アルプス



口につると入ってとろける。黒蜜ときな粉との絶妙のハーモニー。開店時に取材したが、あつという間に行列ができた。今も浦和の家と高山を行き来する。

精神科医の益田大輔さんは福岡出身。愛媛大医学部卒、岐阜大医局を経て高山の病院に赴任した。大学時代から演劇にはまり、高山でも劇団をプロデュースする。高山の町おこしイベントにも芝居で貢献する。「高山は文化度が高く、演劇の活動もしやすい土地柄です」と言う。高山は人々を惹きつける何か強力な磁場があるらしい。

豊かな森林資源に育まれた匠の技

春秋の高山祭の昨年の人出は計四四万六〇〇〇人に上る。春祭（山王祭）の先頭を行く屋台が上一之町の神楽台である。今年、三年がかりの「平成の大修復」が終わった。神楽台の運営を担う一人、生鮮食品卸売会社「ひだ高山中央市場」社長の永井信次さんが、由緒ある高山陣屋の一室で屋台について解説してくれた。高山は一六九二（元禄五）年に三代続いた金森氏の支配から天領（幕府の直轄領）になり、郡代・代官所が置かれた。その庁舎が高山陣屋である。



（写真上から）町中に残る古い町並み。高山祭りの屋台。高山の地場産業は林業。一枚板の銘木が人気

チェーンソーで幹を切っていた。どすん、どすん。頭上約三〇メートルから輪切りされた幹がつつぎ落下する。

もう一人、堀口工務店社長の堀口裕之さんは先々代社長の父親から倉庫一杯の

「屋台は三〇〇年余りの伝統があります。どんな衆と呼ばれる豪商たちが贅を尽くし、飛騨の匠の技を競わせて作りました。飛騨は耕地が狭く、古代から米の貢納の代わりに労力を差し出しました。その人たちが都の造営に当たりました。おかげで中央と飛騨の間で木工の高い技術が交流した。今回の修理の費用は国の補助も得て約四三〇〇万円かかりました。しかし、少子高齢化で祭りを維持するのも大変な時代ですよ」（永井さん）

高山市は平成の町村合併で東京都とほぼ同じ面積がある「日本一広い市」になったが、その九二・一割を占めるのが森林だ。豊かな森林資源があったから匠の技が育まれたのだらう。森林の環境や匠の伝統を支える高山中央RCのロータリアンたちがいる。まず飛騨ツリーワークスの直井泰司さんだ。木に登って伐採したり、枝下ろししたりして森林整備するアーボリスト（Arborist）である。聞き慣れないが、北米から導入された技術という。大木を根抜きするのでなく登って天辺から徐々に切っていく。

「スーパーマーケットのサラリーマンでしたが、山が好きで、山と関われる仕事と思い、出合ったのが、この仕事です」と直井さん。木の幹にロープを回し掛け、大木を登る。靴にはスパイクがあるが、身体を支えるのは一本のロープ。まるでロッククライミングだ。登山好きの谷口幹事と、直井さんが途中の枝に別のロープを掛けて安全確保するまで固唾を飲む。隣の杉の木では相棒の方が



堀口裕之さん



永井信次さん



直井泰司さん



高山中央ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF
TAKAYAMA CHUO



高山の代表的な民家、合掌造りを保存展示している「飛騨の里」

長、新幹事に就任の日だった。中田さんは菓子舗「稲豊園」三代目当主。最近考案した、猫の顔をかたどった五種類の「招福猫子まんじゅう」が人気だとか。モデルは「店のある路地にいる猫たち」。その一匹、黒猫は竹炭の生地に黒砂糖のあんこ。眼も鼻もヒゲも子細に描かれ、かわゆい。記者は「左党」だが、「砂糖」も好きだ。幹事の谷口さんは消防器具販売会社「丸新消防」社長である。谷口さんには、これから三日間にわたって、われわれの取材のために社有車を駆ってくれることになる。

中田会長は「高山は外から来た人には親切で、例えば道を聞かれた人が、その場所まで付いて案内するような風土。掃除は自分の家の前だけでなく両隣も掃いておきます」と言う。

飛騨高山は一九七〇（昭和四五）年に始まった国鉄のデイスカパー・ジャパンのキャンペーンで一躍脚光を浴びた。そうです。「いい日、旅立ち」は、そのキャッチフレーズでした。

あれから四十七年。高山市の「平成二八年観光統計」によると、昨年、人口九万弱の高山市に約五〇倍の四五二万一〇〇〇人の観光客が訪れた。宿泊した外国人旅行者は四六万一〇〇〇人で過去最多を更新。対前年比二六・五五割増だそう。

「当ホテルの外国のお客さまでは、台湾、タイ、香港が多いです」。こう話すのは、毎週月曜日の高山中央RCの例会場でもある「ひだホテル



ブラザ」社長、井ノ下雄志さんだ。春秋に絢爛豪華な曳き屋台を繰り出す高山祭はユネスコの無形文化遺産にも登録されたが、ロビーには岐阜県立高山工業高校の生徒たちが作った「からくり屋台」が置かれている。例会后、この屋台の前で高山中央RC会員の集合写真を撮らせてもらった。それが、当欄冒頭の写真だ。高山中央RCは総勢六〇人。人数が多いので例会中に早々と熊谷カメ

ランが撮影準備をしたが、井ノ下さんが率先垂範で椅子のセッティングをしてくれた。「父親から三〇歳まで自由にしていいからと言われ、ホテルマンとして東京のホテル西洋銀座に勤め、コンシェルジュにまでなりました」と、井ノ下さん。約東通



井ノ下雄志さん



二木公太郎さん

と、井ノ下さん。約東通高山に戻り、三年前に四〇歳で社長に就

いた。

高山市街には七軒もの酒蔵がある。老舗の一つが一六九五（元禄八）年創業の二木酒造だ。古い町並みが残り酒蔵が軒を並べる上二之町にある。この地区の水が良いのだそう。社長の二木公太郎さんは一六代目だが、高山中央RCでは若手の今年四二歳。東京農大の醸造学科で学び、二年ほど他の酒蔵で修業した。二木酒造はコメを磨きに磨いた吟醸、大吟醸にこだわる。その酒に合う高山の酒肴（さかな）って何ですか？

「さあて。高山の食といえば、冬ならブリ鍋があります。高山湾から鮮度のいい魚が入ります」しまった。酒蔵を取材したのに肝心の酒を飲みそびれた。翌朝、観光客に紛れて「氷室大吟醸生酒」を有料試飲する。さわやかな口あたり。しかし、しっかりと日本酒らしいコクがある。

Uターン組の一方、他郷出身の会員もいる。わらび餅「早蔵」を製造販売する「いわき」代表取締役の海老沢玲子さんは埼玉県浦和の出身。大阪の百貨店などで店頭販売を担当し、五年ほど前、自ら社長に就いた。「私自身が買いたいと思うものを売る」のが信条。「お客さんは他で手に入らないものに価値を感じます。材料も作り方も、こだわっています」と言う。味見した。わらび餅は



益田大輔さん



海老沢玲子さん

和の心、木の文化を大切に 古い町の一 番新しいクラブ

文・岩田一平 写真・熊谷武二

旅行者、Uターン組、他郷出身……
人々を惹きつける町・高山

いい日、旅立ち——。ウィークエンドの早朝、

東京駅から新幹線のぞみに乗る。名古屋からは
JR高山線富山行きワイドビューひだ号だ。走

るに従い、山は深

くなる。脇を流れ

る川は昨夜来の雨

を集めて濁流であ

る。通路を挟んだ

席には中国人の中

年夫婦。車両には

外国人客が目立

つ。うとうとする

うち目的地の高山

に到着した。東京

から定刻より少し

遅れ、所要時間は

四時間十数分。雨

がたたって、列車は高山で運行を打ち切られる。
運よくセーフだ。

高山中央ロータリークラブ（RC）の会長、

中田専太郎さんと、幹事の谷口欣也さんが迎え

てくれる。「これが初仕事です」と、お二人から

新しい名刺をもらう。この日、七月一日が新会



例会会場ホテルのロビーで



からです。目の見えない小学六年生ぐらいの女の子とその母親です。目の見えないその子に、一生懸命私の手を握らせて、「ほら、日本の人がここにいるから一緒に連れていって頼みなさい」とお母さんが必死だったのです。

その人はイラク難民でした。イラクからシリアに逃げて、今度はそのシリアも戦地になって、シリアからトルコに逃げてきた難民の親子でした。その少女はイラクで脳の病気を発症し、目が見えなくなつて手術をしたけれども、視力が回復しなかったそうです。トルコにいてもこれ以上の治療は望めないから、日本に連れていってもらえませんか、と母親は必死で子どもにも私に頼むように言うのです。そういう人たちを、たくさんではなくてもできる範囲で受け入れて、一時的にでも日本で治療を受けるようなことができないか、と個人的には思っています。

難民の受け入れというのは、個人的な好き嫌いではなく、どのようにこの問題を捉え、考えるかという、日本の国や社会の在り方を問う問題です。正解はないと思うのですが、重要な課題だと思います。私自身は、何か少しでもできることがあればと思っています。

その一つの取り組みとして今年（二〇一六）、絵本をつくりました。私が文章を書かせていただきましたが、実際に出会ったシリア難民の子どもたちがモデルで『サニーちゃん、シリアへ行く』（自由国民社刊）。収益は全てシリア難民の支援に充てられます。今までも「難民を助ける会」では、このサニーちゃんというウサギを主人公に絵本を発行してきました。なぜウサギか。長い耳で世界の情報をキャッチするという意味合いです。

『地雷ではなく花をください』という地雷に特化したシリーズは、一九九六年に出版しました。私どもの会長、柳瀬房子が文章を書き、世界的な絵本作家である葉祥明先生が絵を担当されました。発行以来二〇年で累計六〇万部を売り上げ、収益は全て地雷除去や回避のための教育に充てられています。

今回の本も、葉先生に絵をお願いしていました。一六年四月の初めのことでした。しかし四月十七日、熊本で地震が起きてしまいました。葉先生は熊本のご出身なのですが、熊本地震で大きな被害を受けた南阿蘇村に美術館があつて、ご親族の家も、その美術館も大きく被災してしまいました。葉先生ご自身が被災者の一人になつてしまわれたそんな時に、シリアの子どものための絵をお願いすることはとてもできないと思いました。半ば諦めていましたし、思った通り、しばらく音信不通が続きました。しかし葉先生はなんと、六月の下旬ぐらいに描き上げてくださいました。

このような葉先生の姿勢は、私たちにとっても大きなヒントを与えてくれているような気がします。一番身近なところ、葉先生にとって熊本のこととは絶対大事、熊本は何より大切な自分の家族がいてご自分の美術館があるところです。でも同時に、シリアのことも、シリアの子どもたちのことも大事だとおっしゃってくださったのです。

自分の生活、自分の家族も大事だけれども、そうではない公のもの、世界で困難な状況にある人のこと、両方が大切です。今の世の中はすべてにおいて世界とつながっています。だからこそ、自分の家族、自分の身近なことだけではいけないし、かといって自分の家族も、自分の地域も、コミュニ

ニティーも放り出して世界のことだけ考える、というのも、まっとうではないように思います。

最後に、「人道の四つの敵」についてお話ししたいと思います。赤十字国際委員会の元副総裁ジャン・ピクテ（一九一四～二〇〇二）が、人道には四つの敵がある、として「利己心」「無関心」「想像力の欠如」「認識不足」を挙げました。私は大学の教員でもあつて、ジェノサイド（集団殺害）の予防を研究しています。ピクテは第二次世界大戦時、ナチスのホロコーストが起きた時に赤十字の最前線で活動していた人。当時の赤十字は、ナチスのユダヤ人虐殺には何もしないということを機関決定してしまうのです。

赤十字はなぜ、そんな決定をしたのか。スイスを守らなければいけなかったから、とされています。赤十字国際委員会のメンバーには、時のスイス大統領が入っていました。大統領としては、ナチに迫害されたユダヤ人を救うよりも、ナチス・ドイツがスイスに攻め込んでくる事態を、何としても避けなければならぬ。そのため、国内問題であるユダヤ人の問題については、下手に手出しはしないと決定したということです。

でもその結果、もちろん、その決定の結果ではないのですが、六〇〇万人ものユダヤ人が犠牲となつてしまった。戦後、その事実を知った時のピクテの衝撃は想像するに余りあります。その時の取り返しのつかない後悔、自責の念とともに、ピクテは「人道には四つの敵がある」と訴えたのです。私自身、そんな偉そうなことを言える立場ではないのですが、最後に、いつも心に留めているこの言葉を皆さんにお贈りしたいと思います。

（ホスト 大船渡西RC）

もに、除去が最大の解決策なのですが、シリアではいまだ紛争が続く、現在も地雷が埋められています。地雷の除去は、紛争が終わらないことには始まりませんから、地雷の被害者は増える一方というのが、地雷をめぐるシリアの実情です。

人道に四つの敵

利己心と無関心と

想像力の欠如と認識不足

では、難民問題を解決するには、どうしたらよいのか。これには三つの方法があるとされています。

一つ目が「自主的な帰還」。帰還というのは、自分が元いた所に戻ることです。「自主的な」というのがみそでして、実は無理やり追い返される場合もあるのです。ですから、あくまでも自主的に帰還することが一番目です。しかし、あるシリア難民の家族を通じて私は、自主的な帰還が幸福とは限らないということを知りました。

去年の秋、トルコでアパートを借りて暮らしている若いシリア難民の男性のお宅を訪ねました。彼は空爆で大きなけがをしていて、「難民を助ける会」が行っているリハビリの支援を受けていました。左足を大きく損傷していたのですが、やっと足が動かせるところになって、国に帰ろうと思っているということです。

彼は奥さんとまだ二歳にもならない赤ちゃんの三人家族。赤ちゃんがずっと咳をし続けていました。部屋の中を見渡しても何にもなくて、唯一置いてあるのが粗末なプラスチックの食器と小さな敷物だけ。カーテンも家財道具もない建物とは、

こんなに寂しい、冷たいものなのだということを痛感しました。その彼が、来週か再来週か、まだ紛争が続いている祖国に帰ろうと思うと言ったのです。理由は、手持ちの資金が底をつき、家賃が払えなくなったから。故郷の自分の家も破壊されているけれども、それでもどうせ死ぬなら自分の家で死にたい、と言うのです。思わず奥さんを見ると、彼女はうつすら笑みを浮かべているような、いないような、何ともいえない表情で、無言のまま、咳が止まらない赤ちゃんをあやし続けていました。忘れられない光景です。

私は、それまで二十数年間、難民問題に関わってきましたが、自主的な帰還というのは、戦争が終わってやっと国や故郷に帰れるという、何かばら色のイメージを持っていたのです。しかし現実には、このような「自主的な帰還」もある、ということに衝撃を受けました。

二つ目の解決策ですが、それは「一時避難国への定住」です。隣の国に逃げた人はそこで定住していく方法、シリア難民だったらトルコやヨルダ

ンなどで定住していくことです。私たち「難民を助ける会」でも、そうした人々への支援をしていますが、まだまだ不十分で、これから、国際社会の援助は絶対必要です。

三番目が「第三国への定住」です。第三国というのは、難民が脱出してまず近くの国に逃れ、そこからさらに第三国に移動して定住する形です。引き受け手になる政府が、自分たちの基準に沿って選定し、入国を許可します。実は日本も、この第三国定住という方法で、先のインドシナ難民と、ミャンマー難民とを受け入れてきました。シリアについては、まだ第三国定住として受け入れる予定はなく、留学生の受け入れにとどまっています。

私は、日本政府も第三国定住として、一部のシリア難民、特にけがをした子どもたちなどの受け入れを検討してもいいのではないかと、と申し上げています。なぜそんなことを思ったかと言いますと、私は「日本に行きたい」というシリア人には会わなかったのですが、治療のために日本に行かせてくれ、という難民親子との出会いがあったか



長 有紀枝

■ 国際NGO・難民を助ける会理事長

一九六三年 東京生まれ。八七年 早稲田大学政治経済学部政治学科卒業。九〇年 同大学院政治学研究所修士課程修了後、「難民を助ける会（AAR）」でボランティア開始。九一年 AAR専従職員。旧ユーゴスラビア駐在代表、常務理事、事務局長を経て、二〇〇〇～〇三年 専務理事・事務局長。〇三年 AAR退職。〇四年 東京大学大学院総合文化学系「人間の安全保障」プログラム博士課程進学。〇七年 博士号取得。〇八年 AAR理事長。〇九～一〇年 立教大学大学院二世紀社会デザイン研究科特任教授。一〇年 同大学院同研究科・同大社会学部専任教授。一一年 NPO法人相馬フオルワチーム理事（現在は副理事長）。一二～一五年 国連中央緊急対応基金（CERF）諮問委員会委員。一六年 国連訓練調査研究所（UNITAR）理事。著書に『スレブレニツァ あるジェノサイドをめぐる考察』（東信堂、二〇〇九年）、「入門 人間の安全保障 恐怖と欠乏からの自由を求めて」（中央公論新社、二〇一二年）など。

ンボジア出身者) 難民は、一部に条約難民も含まれますが、多くは政治的な迫害ではなく、紛争から逃れてきた人々です。このインドシナ難民については、政府は七八年四月、閣議了解という政治的判断で受け入れを決めました。外務省は、人道上の国際協力という面のみならず、アジアの安定という面からも重要と考えられたため、わが国が難民条約に加入する以前から、同条約とは異なった立場において実施したと説明しています。しかしながら、現代のシリア難民や、戦乱を逃れてくる人たちについては、まだ日本政府も決めかねている状況だと思っています。

では、世界の状況を少し見てみましょう。難民の概数ですが、二〇一五年末現在、世界で家を追われた人の総数は六五三〇万人です。内訳は先進諸国で庇護申請を行った三二〇万人、難民二一三〇万人、国内避難民四〇八〇万人。日本の人口の半分が家を追われた勘定です。そして、全ての難民のうち五一割、つまり半分が一八歳未満の子どもです。さらに、紛争や迫害により、一日当たり平均三万四〇〇〇人が難民になっています。一分間で二四人。私がお話をしている最中にも、数百人が新たに難民になっている状況なのです。

そしてその難民のほとんどが、発展途上国にいます。単なる発展途上国ではなく、特に貧しい国々、後開発途上国と言われている国々です。ですから、貧しい国がさらに貧しくなっている。最大の受け入れ国は、今はシリア難民やアフガニスタン難民が多いので、隣国のトルコやパキスタン。他方で、二〇一五年に、帰還することができた難民は二〇万人ほどにすぎません。

二重三重に相手の国の経済に打撃を与える地雷

もう一つお話ししたいのは、難民と切り離せない問題、地雷問題です。地雷は何が恐ろしいか。それは、どこに埋まっているか分からないという点です。アンゴラでの例です。地雷原となつていて、難民が帰還できない村で調査をしたところ、そこには地雷が全く埋まっていなかったことが判明しました。地雷は、実際の被害のみならず、埋まっているといううわさだけでも、十分人を排除することができる兵器なのです。

地雷は、対戦車地雷と対人地雷、そして両者の性質を併せ持った対車両地雷からなり、世界には三六〇種類ぐらいの地雷があるといわれます。対戦車地雷は戦車を吹き飛ばすぐらいの火薬の量。これに対して、対人地雷は成人男性の足が一本吹き飛ばぐらいの火薬の量に抑えられています。わざと殺さないようにしているのです。一人殺してしまえば、相手の兵士が一人減ってそれでいいですが、殺さずに足が一本吹き飛ばぐらいのけがにしておくと、友軍が必ず助けに來ます。大人の男性の搬送です。多分一人の負傷者の救援に二、三人の男性が必要になるでしょう。

また、地雷が埋まっているような国々での仕事といえば農業が中心です。足がないイコールもう働けない、という事態になってしまうのです。その人を、一生にわたってコミュニティや家族が世話しなければいけない。地雷で兵士を一人殺すと、単純計算では相手の兵力マイナス二ですが、生かしておけば、二重三重に相手の国の経済に打

撃を与えることができる。地雷が「悪魔の兵器」とも呼ばれる所以です。

ただ、あくまでも兵士、成人男性を念頭に置いているので、男性よりずっと体が小さい女性や子どもの場合、地雷を踏むと亡くなる人が圧倒的に多いといわれています。従って地雷の被害者が一人いたら、その後ろには、亡くなって目に見えない被害者がもう一人いるといわれています。

私たち「難民を助ける会」では、アンゴラ難民の帰還を前に、難民の子どもたちに人形を使って「地雷に注意しましょう」と教えました。日本で小学一年生に交通安全教育をするように、アンゴラ難民の子どもたちに、地雷の被害から身を守る方法を教えたのです。

地雷回避教育ともいいますが、これは単に地雷に注意しなさい、という教育にとどまりません。実は、道徳に反することも教えています。「自分の家族や友達が地雷の事故に遭っても助けましよう」ではなく「助けにいつてはいけません」と教えるのです。地雷は一つではなく通常は多数埋まっていますから、被害者が複数の家族が珍しくありません。おじいちゃんと孫、お母さんと娘など、一緒にいる時に片方が事故に遭って、もう一人が駆け寄って、駆け寄った家族と一緒に犠牲になってしまう、という例が後を絶たないのです。

けがをした場所が地雷原で、地雷が埋まっていることは知っていたけれども、そこで農作業をしないと生きていけないから、という被害者も大勢います。地雷回避教育は非常に大事ですが、それだけでは不十分で、除去という次のステップと組み合わせることが、非常に重要です。

このように地雷問題は、新たな埋設を防ぐとと

約」が採択されました。ここで定義された難民とは、人種や宗教、国籍、特定の社会的集団の構成員であること、または政治的意見を理由に自国にいと迫害を受けるか、あるいは迫害を受ける恐れがあるために他国に逃れた人々、です。条約に

は「五一年一月一日以前に欧州で発生した事件を対象とする」という意のたし書きがありました。第二次世界大戦後、という混乱した時代背景から生まれたものでした。しかしこれではあまりにも限定的で、その後も、世界中で難民問題が発生し

ましたから、対応できませんでした。そこで、一六年後の六七年に「難民の地位に関する議定書」が採択されました。難民の定義は一緒ですが、先の二つの条件、つまり欧州だけという地理的な制約と、一九五一年以前という時間的制約とを取り払ったのです。

しかし、現在私たちが日々、ニュースで接するのは戦争、紛争を避けて逃げてくる人たちがほとんどで、この定義には当てはまりません。こういう状況を前に、六九年のアフリカ統一機構による通称「アフリカ難民条約」では、紛争を避けて逃げてくる人たちも難民と呼んでいます。しかし、五一年の条約の定義とは異なります。

そこで、五一年の条約で定められた、亡命者のような人たちを「狭い意味の難民」「狭義の難民」「条約難民」と呼び、他方、紛争を逃れてきた人々を「大量難民」「広義の難民」あるいは「紛争難民」と呼んで区別しています。

今、日本は難民を受け入れない国として、批判されています。一つの理由は、日本が受け入れを表明しているのは、「狭い意味での難民」だけであり、かつ、こうした「条約難民」についても、その審査が非常に厳しいからです。シリア難民のように紛争を逃れてくる人たちは、そもそも、日本が受け入れる難民の定義とは異なる人々です。

では、こうした大量難民についてどうするのか。現在はこうした「紛争難民」については、難民とは認定しないものの、人道上の配慮を理由に、在留を特別に許可するという形態が取られているにすぎません。この点については、実は日本には先例があります。「難民を助ける会」設立のきっかけとなった、インドシナ（ベトナム、ラオス、カ



写真提供：国際NGO・難民を助ける会 シリア難民と地元のトルコの子どもたちと。AAR運営のコミュニティセンターにて

難民問題 今、何が起きているか

私ども「難民を助ける会」は1979年、インドシナ半島から多くの人々が難民として日本に逃れてきた時、尾崎弔堂（がくどう）こと、尾崎行雄（1858～1954）の三女・相馬雪香（1912～2008）が日本を世界の孤児にしてはならない、「困ったときはお互いさま」という、日本の善意の伝統を身近な人だけではなくて、外国の人に対して、示していこう、とつくった組織です。

国際NGO・難民を助ける会理事長 **長 有紀枝**
Yukie Osa

難民は生まれながらにして 難民だったわけではない

「難民」というと、どんなイメージを持つておられるでしょうか。私たちの組織・国際NGO「難民を助ける会（AAR Association for Aid and Relief, Japan）」の創設者、相馬雪香自身が、敗戦後の満州からの引き揚げ者、今で言うところの難民でした。

現在、シリア難民について連日のようにテレビで報道されています。よく聞かれるのが「どうして難民がスマホを持っているのですか」という質問です。しかしその感覚は全然違う、と申し上げたいのです。どう違うのか。難民がスマホを持っているのではなく、スマホを持つて私たちと同じような生活をしていた人たちが、ある日突然難民になったのです。それまで普通の暮らしをしていた東北の方々が、東日本大震災が発生したあの三月十一日を境に「被災者」になってしまったのと同様に、難民の人も生まれながらにして難民だったわけではないのです。

象徴的な話があります。私たちはシリア難民の支援のため、トルコに事務所を置いているのですが、二〇一六年の春、現地を訪問した折、トルコ

人とシリア人の職員と一緒に食事をした時のことです。あるトルコ人職員がこんなことを言いだしました。「実は、難民が来るのがとても嫌だった。仕事ができなくなり生活を乱されると思ったし、町も汚くなる、物騒になる、犯罪も増えると思った。本当に、シリア難民には来てほしくなかった」。シリア難民の職員を前にした突然の発言に、間に挟まれた私は思わず、絶句してしまいました。すると、信じられないようなことをシリア人の職員が言うのです。「ああ、その気持ちすごくよく分かる」。えっ、一体どういうこと？ 「いや、自分も同じことを考えていたから」

実は、紛争が起きる前、シリア自体がイラク難民の最大の受け入れ国だったのです。「イラクから大勢の人が難民としてシリアに避難してきた時、自分も本当に嫌な思いをした」「イラク人が入ってくると、生活が乱れる、仕事が終わる、治安も悪くなると思った。まさか、自分がこんな身になるなんて思ってもみなかったけれども、今自分がこの身になってみると、トルコの人のがちがよく分かる」と言うのです。

そして彼は黄色い小さなブジョー、フランスの車ですが、その写真を見せてくれました。「中古で買った車だけれど、大好きな愛車だった。本当に好きで、大切に、大切に、乗っていた。でも全部壊された。今はトルコで何もない生活をしているから、自分が車を持っていた時代があったなんて信じられないぐらいだけれど」

では、具体的に「難民」とは一体、どういう人を指すのでしょうか。実は法的に明確に定まっています。一九五一年に「難民の地位に関する条

10 月は経済と地域社会の発展月間 米山月間です

THE ROTARY-NO-TOMO

難民問題 今、何が起きているか……………4 65

◆国際 NGO・難民を助ける会理事長 長 有紀枝

シリーズ クラブを訪ねて……………9 60

和の心、木の文化を大切に 古い町の一軒新しいクラブ

高山中央 RC・第 2630 地区

文・岩田一平 写真・熊谷武二

友愛の広場……………13 56

地域と共に歩みたい 河北南 西 茂

宮古馬、絶滅の危機 名古屋和合 鷲塚貞長

元米山奨学生と再会 岡崎東 山内隆一

ロータリーありがとう 松浦 山本浩平

わが友人たち 鹿児島東南 柿元敬一

今年も友好クラブ例会開催！ 浦和東 平田利雄

韓国・南釜山 RC との五〇年を振り返って 和歌山 中島章雄

地区大会に子ども合唱団出演 安芸 中川彩子

◆わがまちの味……………18 51

卓話の泉……………18 51

食育の話 服部津貴子

モーツァルトとオペラ 宮本益光

私の一冊……………18 51

東京池袋 小泉博明 八戸南 米内安芸

ロータリー 俳壇 ◆稲畑 汀子 選……………20 49

ロータリー 歌壇 ◆佐佐木幸綱 選……………20 49

ロータリー 柳壇 ◆てしま晩秋 選……………20 49

ロータリー・アット・ワーク……………22 47

若き経営者たちと協同で地域清掃活動

江田島ロータリークラブ

〈写真〉結城／小松／秋田・秋田中央・秋田東・

秋田北・秋田南・秋田港・秋田西／長崎北／

京都北東／函館／笛吹／佐世保東／真庭／

鹿沼／東京蒲田／安城／有田／射水／日田／

川崎高津



タイの子どもたちにランドセルを寄贈 渥美

ラオスとカンボジアの小児病院を支援 東京多摩グリーン

台中西北 RC との四五五年の深いつながり 堺東南

東ちづるさんを迎え希望の風チャリティー講演 本庄

熊本地震の仮設団地へ畳と倉庫を寄贈 八代東

公共イメージ向上の一環でチャリティー公演開催 大宮中央

健康と奉仕をテーマに講演会 宇都宮陽東

スリー・バイ・スリーバスケットボール相生大会 相生

職業奉仕の進化を目指すクラブのチャレンジ 宮崎東

声 7 月号の感想……………31 38

表紙 横組み 野中正規 (日本イラストレーター協会)

縦組み 高桑幸次

表紙題字 加藤光峰

表紙レイアウト 箕牧 彰

◆本誌中の RC はロータリークラブ、R は国際ロータリーの略です。

◆横組みの目次は、反対側の表紙を開いた 4〜5 ページにあります。

◆本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp (本誌の内容・ご投稿)

経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp (購読・注文)

ロータリーの友 Home Page
www.rotary-no-tomo.jp





DNP
大日本印刷



東京2020オフィシャルパートナー(印刷サービス)

DNPは、東京2020オリンピック・パラリンピックの オフィシャルパートナー(印刷サービス)です。

偽造防止技術を活用した、大会チケットや身分証明証の印刷およびそれらの安全な運用。大会を盛り上げるための各種告知物の制作。さらには、各国からの来訪者に向けた印刷物など。来たる東京2020大会において、DNPは「印刷サービスパートナー」として、様々な形での支援を考えています。

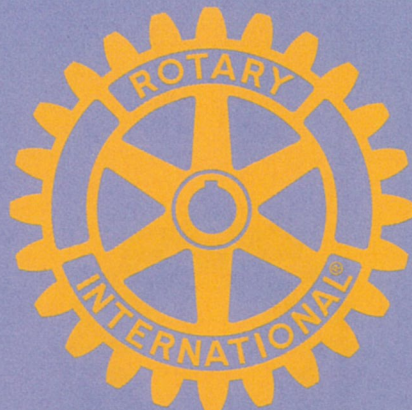


THE ROTARY-NO-TOMO

ロータリーの友

10

2017
OCTOBER
VOL.65 NO.10



SPEECH

難民問題 今、何が起きているか

長 有紀枝

クラブを訪ねて

高山中央ロータリークラブ

Rotary

